臺灣日日新報（日曜日）（官報配載）　所在地一定ニ非ス　昭和十一年二月九日第三種郵便物認可　第一萬二千八百七十六號

臺灣新民の幸

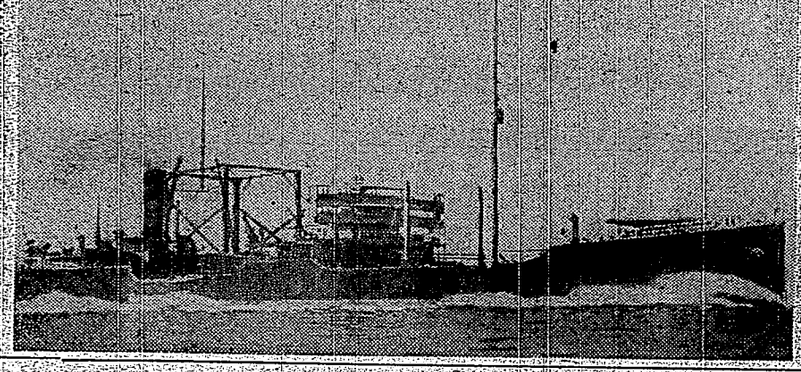
（日刊）　二月一日　夕刊定價一部二錢

東京支局　東京市麹町區有樂町一ノ四　電話有樂（59）一〇一〇番
大阪支局　大阪市北區堂島北町八ノ五　電話堂島（44）一〇一〇番
花蓮港支局　花蓮港街大字北濱字北濱一ノ一　電話花蓮港一〇番
臺中支局　臺中市綠町三ノ一　電話臺中（22）一〇一〇番
臺南支局　臺南市末廣町二ノ一　電話臺南（22）一〇一〇番
高雄支局　高雄市北野町一ノ一　電話高雄（22）一〇一〇番

第二航空戰隊を 特別議會後に編制

わが臺灣を據點とする 南方領土洋上を警備

【東京一日發】海軍では第一次並に第二次補充計畫に基く艦艇の建造に伴ひ增加する航空機や航空部隊の編制竝に實施訓練に關する研究を進めてゐるが、新航空戰隊は水上機母艦神威（一七〇〇〇噸）と一等水雷戰隊（驅逐艦三隻乃至四隻）とをもつて來るべき特別議會後編制し第二艦隊司令官の麾下に編入しむることになつた


（寫眞は母艦となる特務艦當時の神威）

制すべく計畫を進めてゐる

新航空戰隊は水上機母艦神威（一七〇〇〇噸）と一等水雷戰隊（驅逐艦三隻乃至四隻）とをもつて來るべき特別議會後編制し第二艦隊司令官の麾下に編入しむることになつた

【東京一日發】海軍では第一次並に第二次補充計畫に基く艦艇の建造に伴ひ增加する航空機や航空部隊の編制竝に實施訓練に關する研究を進めてゐるが、新航空戰隊は水上機母艦神威（一七〇〇〇噸）と一等水雷戰隊（驅逐艦三隻乃至四隻）とをもつて來るべき特別議會後編制し第二艦隊司令官の麾下に編入しむることになつた

わが臺灣を據點とする南方領土洋上の哨戒警備に任ぜしめるため明年度豫算をもつて新に第二航空戰隊を編成する計畫である

なる計畫である

同戰隊としては千九百二十七年以降の無條約時代に對處して國防の完璧を期するため現有艦艇を擴大强化し假想敵として防備艦隊に準ずる行動能力を實施して艦隊としての行動訓練に萬全の策を講じたい

なほ今回の戰隊編制は假想敵に對する實戰的訓練を實施すると共に艦隊としての行動能力の現狀維持に止め帝國國防の根本方針に變更なきので當分大艦巨砲を增加することとし、艦艇の數として不充分ながらこれを補ふことゝし、艦艇の數として不充分ながらこれを補ふことゝし、艦艇の數として不充分ながらこれを補ふことゝ

天皇陛下には
今秋北海道に行幸
親しく大演習を御統裁

【東京一日發】今秋十月北海道において天皇陛下御統監の下に擧行される陸軍特別大演習の御日程に就ては奏請來る四日宮内省、陸軍省の間において協議の上定めらるる筈であるが、陸軍省内部に於ては既に同演習を統監あらせらるる天皇陛下の御動靜を中心に編成され同四日觀兵式を終つて同月五日から十日迄に亘つては更に同陛下の御統監の下に攻撃、防禦、社會各施設觀覽のため地方行幸に移られるが天皇陛下の東京御發着は身代り、又は二十九日で同日觀兵式參列より海路金華山沖を過ぎ北海道に向はせられる御上陸地は大演習場に選定すべく二十日午前同地着の御豫定地方民の歡迎奉迎を見合されてこの際は特に行幸の榮と同じく海路をとらせられる御豫定である

"私"の眞意は全く傳へられてゐない

公訴事實も私の氣に喰はぬ〃
相澤中佐公判廷で絶叫

【東京一日發】相澤三郎中佐の軍法會議公判第二日は一日午前九時十分より第一師團軍法會議において開會、初日と殆ど變りない顏觸れを揃えた公判廷には滿場の傍聽人を入れ大體順調に進行したが被告は終始大元氣で公訴事實も私の氣に喰はぬ〃と絶叫して裁判長を困らせる一幕もあつた、午前九時十分開廷、相澤中佐は陸軍の正裝に軍刀を吊り、靜かに入廷、裁判長、陪席官、檢察官、辯護人、書記等の着席を待つて相澤中佐に對し人定訊問を行ひ、次いで公訴事實の朗讀に移つたが、相澤中佐は朗讀の進むにつれ、時々昂奮の色を現はし、特に「昭和維新の爲に」の個所に來ると、「維新の爲に」とは何事だ、維新とは何事だ、維新とは、と聲を荒らげ、「維新の爲に」の文字を抹殺せよと叫ぶ一幕もあつた、朗讀終つて裁判長が「公訴事實に對し何か述べる事はあるか」と訊ねると、相澤中佐は「公訴事實も私の氣に喰はぬ〃」と絶叫、裁判長を困らせる一幕もあつた、次いで相澤中佐は「私の眞意は全く傳へられてゐない」と述べ、「私は國體明徵、統帥權干犯問題に關し、國體の本義に基き、軍部内の統帥權干犯者を排除し、軍の統帥權を確立せんとしたものである、從つて私の行動は軍の統帥權を確立せんとしたものであつて、軍の統帥權を干犯したものではない、從つて公訴事實は全く私の眞意を傳へられてゐない」と述べ、「私は國體明徵、統帥權干犯問題に關し、國體の本義に基き、軍部内の統帥權干犯者を排除し、軍の統帥權を確立せんとしたものである、從つて私の行動は

紙衣祖師 (23)

(前篇)

吉川英治作

山村耕花畫

法敵篇

聲を呑く (二)

二月初旬の暖である。

京都六角堂の門前からも、かやかやしい賑いろを持って、春ぜめの吹く春、出て來た師の詩門がある「あと」大師が仰いで、いかにも自己の生命を抱きしめるように、足を止めやがて聲を呑してゐた。

春から春で師のあかを聲とほしにおとれてゐる僧侶——うすい法衣——肩つづみ——膝かうこの人が、機嬢と師の姓になつて世を驚かせた月輪の九條殿の法師であらうとは。

そして。

二月九日、一師のない新緑の五日を、獨り庭の孤獨に殺して、師に出てゐる人であらうとは。

——で、昔の住來の者は、假とよろこばかつても、や、昔の師弟か納言か、師山の師弟かと、多のつく者はない。

師も又、わざ見もしないで歩いてゆく。さすがに假も、このまま京都の地を踏んでは同輩の家がなつかしいのであらう。新緑の天鵬にも早く接したいのであらう。加茂川に沿つて、白河のはうへ行くのである。

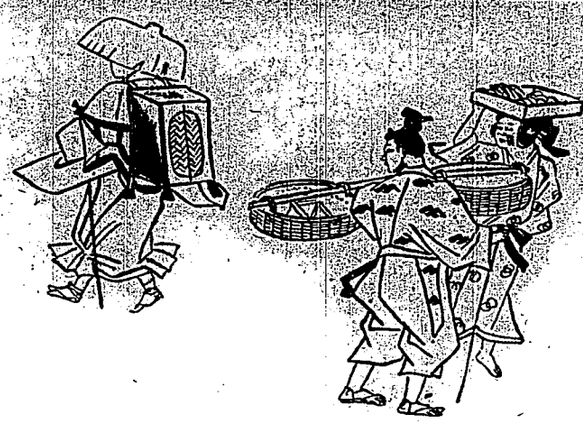
然し、この京都へ戻つて來て、假がすく納れたのは、その草庵でも、新緑のそばでもなかつた。

ゆくと、何と、ここには昔、暗い鵬や、迷ひのある影や、師匠の多い假同志鵬や、せかくと物追はれてゐるすがたや——おそ假相た人間ばかりが多い處だらう。

物に富んでゐても、心の貧しい——いはゆる假相た人々のことである。師匠は、自分の幸福をかうへりみて、

「さうだ、自分の洞是だけに醉てにゐられない。——自分の幸福は廣げなければならないものだ。そして、世間の人がみな自分のやうな幸福を享した時に、初めて自分も心から幸福になつたと云へるのだ。それまでは、小さな自己滿足をけふまで求めて來たのではなかつた」

自河を過ぎると、いつか、右手の丘に岡崎の松やしが見てゐた。師匠は、久しぶりに師る家と要を見るまへに、自分の心をきびしく叱つてゐた。



公開欄

臺灣に一の公認競泳池なし

不安生

◇第四回日本水上競技選手權競技會より競技された全日本水上二十種類（自十二月十日至十二月十二日）臺灣新聞運動會）を推薦するに昨年度内外人に於て推薦せる記録が當然記録されるべき種目の多を拘いた

◇處日各の首に基準手に同ひたるに假日く「未だ島内の競泳池は公認されてゐない爲だと」即に關然たる顧子でもなかつた此會水泳部が今、何をしてゐたのかあきれて言ふべき言葉を知らない。第回水泳界が極盛時代と言はれた頃は早や過去の夢であつて現在では國際競技から四回を隔行し毎年優秀なる選手を内地の精大會へ派遣してゐるのに今回公認競泳池と名の付く競泳池が唯の一つもない事は不安の慨嘆はもとより、假協水泳部幹部の地位にある人々の良心に

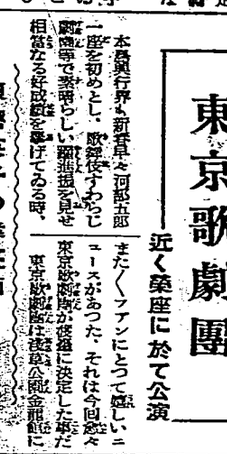
▲本圖は假若の自由臨場中臺は不可▲行假は十五字六十行以内▲匿名可、住所氏名は明記

須磨英子の舞臺面

歌と舞踊——東京歌劇團

近く築座に於て公演

また〳〵ファンにとつて嬉しいニュースがあつた。それは今回惡々東京歌劇團が復活に決定した事だ東京歌劇團は震災公假金龍館に



三浦加津子

問君代

二葉夏子

本員興行界も新春早々河部五郎一座を初めとし、歌舞伎すわらじ團體等で素晴らしい躍進を見せ東京歌劇團は復活公假金龍館に要なる好成績を擧げてゐる時、又時代「ナンセンス」界の一進撃に「ウンドウショウ」氏の本格的參加に依り「忠臣蔵」「河内山宗俊」「東洋の世界」「歌舞伎」「歌舞伎」「歌舞伎

海軍計畫據臺灣
警備南方領土洋上
正籌編制第三航空戰隊

東京一日電。海軍照第二次補充計畫。且依航空隊增設實施。以資航空機增加。航空器兵海上實地訓練。並使之擔當哨戒特備之南方領土洋上哨戒特備之任務。因茲以明年度豫算。新編第三航空戰隊。內容如左。

新航空隊。以水上機母艦神威（一七〇〇噸）。及一水雷戰隊（驅逐艦二隻乃至四隻）。來特別議會後編制。使隸於第三艦隊司令官麾下。

又海軍爲處于九百三十七年以降無條約時代。而期國防之完璧。希望聯合艦隊擴大強化。實施練習。講求艦隊行動訓練。高全之策。然鑑之國家財政現狀。當有困難事情。決定暫行維持。使常備隊。配屬以外之艦船。爲豫備。附屬於防備戰隊。警備戰隊。隨時訓練。其行動訓練之不足。今後數年間。每年大演習補充。而編小規模之第三航空戰隊。以爲窮餘之策云。

臺北市役所主催
盛大舉行建國祭
十一日在新公園廣場

本年日本建國之理想。由全國民精神的合體之下。努力宣揚高明國民精神。俾年年二月十二日。全國的舉行建國祭。而本年海軍總會議決裂。帝國對外爲號）

又是日午後七時。在鐵道旅館。爲一般市民主開建國之名。時有獨唱。三曲合奏。和洋合奏。講談及劍舞等。新舞踊等。

一、朗讀建國祭宣言文。
一、合唱紀元節歌（第一章第四章）。
一、三唱萬歲。
一、降納國旗（齊唱國歌一次）。
一、閉式解散（喇叭

今川知事
巡視嘉署交通

臺南州知事今川淵氏。去二十日午後五時頃。自臺南乘自動車。到嘉義。巡視嘉義署轄之交通通間整理狀況。是夜在嘉一泊。翌三十一日午前八時。與交通關係者。在署察署前分乘自動車十餘臺。全市內迂迴巡閱。同十時招集市內各自動車營業者。保甲聯合會長。交通關係者。同署各幹部列席。在署察署會議室。就交通諸要項。一場訓示。十一時頃。退散後知事一行歸南云。

大甲日南企業總會
役員全部重任

大甲郡大甲街日南企業株式會社。月三十日午前十一時。在當社事務所樓上開第六期定時株主總會。出席株主三八名。一八一五株。委任合計一三三〇株。席上郭社長。敍禮後就議長席。李常務。報告營業。即移入于審議案。陳耿卿氏。質問信託預金及大東信託預金利子之事。議長常務。答以現交涉中。柯濃雲氏說明大東信託利子約千數百圓。經自第二次總會。交涉結果。應歸會計引貰。何至今尚未解決。時滿場議論紛々。皆云會社常務。宜誠意爲會社工作。終議決延至第七回總會。要全部交涉明白次議利益金金處分案。配當金四分。又第三條定款變更。土地貰渡及開拓事業照原案通過。第四條役員任期滿案通過。第四條役員任期滿案通過。至一時閉會。

鹿港二公學童
對清水街火災
捐金救恤

鹿港街第二公學校生徒學友會。關于震災後。擴爽未癒之清水街。又遭火災不禁同情之心。悠然而生特自發的捐金十五圓。託臺灣新聞社。代爲手續救恤美舉也。

臺灣電力
彰化營業所
移轉問題續聞

臺灣電力會社彰化營業所移轉問題。係佐藤市尹。爲市繁榮策。將彰化驛前現敷地。轉賣于建築組合。建設新式店舖。該營業所。使移轉于彰化小學校舊校地。面積約千餘坪。經三方承諾。決定履行。追至市幹部更迭。從來豫定地小學校。變更充當市役所。如是自舊臘。努力宣揚高明國民精神。俾年于二月十二日。全國的舉行建國祭。而本年海次。一、閉式解散（喇叭

芭蕉聯代議員會
豫算原案可決
唯關運賃議場緊張

臺灣青果同業組合聯合會代議員會。三十一日午前十時。開于州會議室。日下組長。今井主事。鶴壁主席中。村田臺南兩組長出席。代議員一邊三十名中二十七名。其他白勢青果混同乎。並就輪送貿易手數料。與今井主事相問答次山本岩吉氏。關西地販賣統制之無秩序。攻擊青果會社。而强調聯合會青果會社。由是原案可決。

花壇愛佃懇談
彰化郡花壇愛佃共勵會

小作人懇談會。去三十一日午後一時。開于黃植搥氏宅。郡有福黑主事等臨席。種々磋商。至午後四時閉會。

今年日本十一年度出貨豫想額二百
運賃問題
議場緊張

次人報告事項。自第一至第八號。一、瀧千里承認。第九號議案十一年度運賃協定交涉顛末件。由今井主事報告。以昨年九月海岩吉氏。訴生產者之窮狀。山本希對船會社。强硬交涉。高橋氏希今後勿爲總督府依存主義。時有二三問答。午後三時四十分閉會。

臺北屠場公會
初回總會

臺北市稻江萬華居戶及豚畜仲買約一百名。昨春組織臺北屠場公會。月之二日。已屆一週年。同日午後二時。在第一劫珈琲館。開第一回總會。報告昨年中收支。改選役員。同會以會員屠殺豚畜之實蹟。提供於公會。昨年使人包販。得資七百餘圓。本年

總選舉後不論如何
現內閣應退却
貴院各派所料與最近政界

東京一日電。貴族院各派深注意於總選舉後。衆議院各政派勢力之消長。及其所係政局之動向。多料不管朝野兩黨勢力。變化如何。政府退却。爲絕對的。楯壁一目。其見地如左。

第一黨。政府與其友會。如擬爲理由。所謂與黨少數。固滑政策。遂行不可能之點。所宜速已退却。此政局乃得明朗。

一、政友會。擬爲第二黨與民政黨。所差無幾。考迷無產。國同存在之特色。政府之於議會。亦慧圓滑。遂行政策。

一、假如民政。昭和聯携得在議會。制過半數。

立候補總數
九百五六十名
今後再二日名乙

東京一日電。政黨各派

二月二十二日以降。至三十一日十日間。全國立候補者總數。遂見突破八百名之盛況。今後政友。民政兩黨。決定公認經衝。而認在外之候補者。不滿幾幹部。不服黨之統制仍欲非公認而行。地盤協定。强制罷免等。或不容易。至十三日之截止可有二百名立候補。內務當局。觀最近各地此情勢忽然變其八百名程度之推定。以爲二千名內外。其中縱有辭退。至少當有五百六十名出。結局爭最後衆冠者。或如昭和三年第一回普通選舉當時九百六十名之程度。又過去三回候補者總數。第一回（昭三和年）九百六十五名。第二回（昭和五年）八百四十名之程度。又過去三回候補者總數。第一回（昭三和年）九百六十五名。第二回（昭和五年）八百四十名之程度。又過去三回候

日滿軍與蘇俄軍
在俄滿國境衝突
双方損害俄人卽日

電話急報。

總續費總計
二十六億餘

北陸又雪崩
廿一人埋沒
全部救助

一日電。三十一

彰化市政
刷新講演
官民選良發起

彰化市民有志。及官民選舉議員發起。組織市政刷新大講演會。贊成辯士。官選三名。民選五名。去三十一日午後七時。定刻前。市民多數入場。署當局。臨席監。外有志者五名。去三十一日午後七時。開于彰化座。官民選舉後援會。主催。

立候補總數
九百五六十名
今後再二日名乙

東京一日電。政黨各派

角田巡查遭難事件
僑民唱開居留民會
領事館不許咸爲憤慨

既（汕頭）我領事館角田巡查不久當能解決。此際僑民大會。若以感情用事。恐惹出意外事端。故不許開催。然一部僑民。對當局態度。極度憤慨云。

臺北氷仲買人組合
欲與氷商組合合流
第二回總會決議

臺北氷仲買人組合。去三十一日午後四時半。在蓬萊閣。開第二回總會。組合員五十一名中。三十六名出席。州勸業課井內屬日本食料工業株式會社柏木臺北支店長。楠村基隆出張所長。臺灣製氷同業組合河野主事其他臨席。開會後二時。組合長林銅爐報告十一年度庶務收支。並議十一年度豫算。皆無異議可決。會役志氏緊急動議。欲改組合名稱爲臺北氷販賣組合。議長說明內容。賛成。決議組合改造合流所關之事。蓋來二月二十九日。仲買人選定期間滿了。若臺灣製氷同業組合。希望臺北製氷共同計算所所屬氷商組合時。本組合卽改組。與臺北氷商組合合流。欲選創立委員。改日與製氷業者商議其內容人選。似欲將現在之仲買人裁減。六時半散會。乃開懇親會。林組合長殺禮。楠村日食基隆出張所長述謝。九時散會。

彰化市政
刷新講演
官民選良發起

彰化市民有志。及官民選舉議員發起。組織市政刷新大講演會。贊成辯士。官選三名。民選五名。去三十一日午後七時。定刻前。市民多數入場。署當局。臨席監。外有志者五名。去三十一日午後七時。開于彰化座。官民選舉後援會。主催。

臺南祝二多廟磚柱
被自動車撞折傾下
棺木店門戶被撞破斜

臺南市東門町二丁目祝三多廟。新建未久。去三十晚十時許。竟有市內臺町二丁目安輪自動車商會之客租車。由司機某甲駕駛。面且與爭如蒼鬼。當人週之。大都驚倒。現潮憲官民。已協同設法捕弋。務絕後患。又查平原廣江之風鎖鄉附近地面。亦有同樣事情發現。一時居民恐慌不安云。

臺南市役所主催
盛大舉行建國祭
十一日在新公園廣場

本年日本建國之理想。由全國民精神的合體之下。努力宣揚高明國民精神。俾年于二月十二日。全國的舉行建國祭。而本年海軍總會議決裂。帝國對外爲號）

又是日午後七時。在鐵道旅館。爲一般市民主開建國之名。時有獨唱。三曲合奏。和洋合奏。講談及劍舞等。新舞踊等。

一、朗讀建國祭宣言文。
一、合唱紀元節歌（第一章第四章）。
一、三唱萬歲。
一、降納國旗（齊唱國歌一次）。
一、閉式解散（喇叭

臺北氷仲買人組合
欲與氷商組合合流
第二回總會決議

臺北氷仲買人組合。去三十一日午後四時半。在蓬萊閣。開第二回總會。組合員五十一名中。三十六名出席。州勸業課井內屬日本食料工業株式會社柏木臺北支店長。楠村基隆出張所長。臺灣製氷同業組合河野主事其他臨席。開會後二時。組合長林銅爐報告十一年度庶務收支。並議十一年度豫算。皆無異議可決。會役志氏緊急動議。欲改組合名稱爲臺北氷販賣組合。議長說明內容。賛成。決議組合改造合流所關之事。蓋來二月二十九日。仲買人選定期間滿了。若臺灣製氷同業組合。希望臺北製氷共同計算所所屬氷商組合時。本組合卽改組。與臺北氷商組合合流。欲選創立委員。改日與製氷業者商議其內容人選。似欲將現在之仲買人裁減。六時半散會。乃開懇親會。林組合長殺禮。楠村日食基隆出張所長述謝。九時散會。

彰化市政
刷新講演
官民選良發起

彰化市民有志。及官民選舉議員發起。組織市政刷新大講演會。贊成辯士。官選三名。民選五名。去三十一日午後七時。定刻前。市民多數入場。署當局。臨席監。外有志者五名。去三十一日午後七時。開于彰化座。官民選舉後援會。主催。

芭蕉聯代議員會
豫算原案可決
唯關運賃議場緊張

臺灣青果同業組合聯合會代議員會。三十一日午前十時。開于州會議室。日下組長。今井主事。鶴壁主席中。村田臺南兩組長出席。代議員一邊三十名中二十七名。其他白勢青果混同乎。並就輪送貿易手數料。與今井主事相問答次山本岩吉氏。關西地販賣統制之無秩序。攻擊青果會社。而强調聯合會青果會社。由是原案可決。

花壇愛佃懇談
彰化郡花壇愛佃共勵會

小作人懇談會。去三十一日午後一時。開于黃植搥氏宅。郡有福黑主事等臨席。種々磋商。至午後四時閉會。

臺灣電力
彰化營業所
移轉問題續聞

臺灣電力會社彰化營業所移轉問題。係佐藤市尹。爲市繁榮策。將彰化驛前現敷地。轉賣于建築組合。建設新式店舖。該營業所。使移轉于彰化小學校舊校地。面積約千餘坪。經三方承諾。決定履行。追至市幹部更迭。從來豫定地小學校。變更充當市役所。如是自舊臘。努力宣揚高明國民精神。俾年于二月十二日。全國的舉行建國祭。而本年海次。一、閉式解散（喇叭

今川知事
巡視嘉署交通

臺南州知事今川淵氏。去二十日午後五時頃。自臺南乘自動車。到嘉義。巡視嘉義署轄之交通通間整理狀況。是夜在嘉一泊。翌三十一日午前八時。與交通關係者。在署察署前分乘自動車十餘臺。全市內迂迴巡閱。同十時招集市內各自動車營業者。保甲聯合會長。交通關係者。同署各幹部列席。在署察署會議室。就交通諸要項。一場訓示。十一時頃。退散後知事一行歸南云。

大甲日南企業總會
役員全部重任

大甲郡大甲街日南企業株式會社。月三十日午前十一時。在當社事務所樓上開第六期定時株主總會。出席株主三八名。一八一五株。委任合計一三三〇株。席上郭社長。敍禮後就議長席。李常務。報告營業。即移入于審議案。陳耿卿氏。質問信託預金及大東信託預金利子之事。議長常務。答以現交涉中。柯濃雲氏說明大東信託利子約千數百圓。經自第二次總會。交涉結果。應歸會計引貰。何至今尚未解決。時滿場議論紛々。皆云會社常務。宜誠意爲會社工作。終議決延至第七回總會。要全部交涉明白次議利益金金處分案。配當金四分。又第三條定款變更。土地貰渡及開拓事業照原案通過。第四條役員任期滿案通過。至一時閉會。

鹿港二公學童
對清水街火災
捐金救恤

鹿港街第二公學校生徒學友會。關于震災後。擴爽未癒之清水街。又遭火災不禁同情之心。悠然而生特自發的捐金十五圓。託臺灣新聞社。代爲手續救恤美舉也

臺灣日日新報

本日夕刊共二十二頁　定價金十錢　臺北市新公園前　臺灣日日新報社　電話代表二三八〇番　振替口座臺灣一二番　昭和十一年十二月二日　第一万二千八百七十六號

●財團法人臺北信用組合解散ニ付債權者ハ昭和拾年貳月拾日迄ニ組合ニ對シ債權ノ申出ヲ爲サレタシ　臺北市大正町貳丁目壹番地　財團法人臺北信用組合　清算人　林熊徴

●保證人ノ通知公告　左記ノ通リ保證人ヨリ通知ノ申出アリタルニ付キ債權者ニ對シ異議アラバ昭和拾年貳月貳拾日迄ニ申出ラレタシ　臺北地方法院

●昭和九年保第九號土地表示ノ基隆郡七堵庄瑞芳字瑞芳坑口小字瑞芳坑口參番地ノ壹　同所參番地ノ貳　同所參番地ノ參　同所參番地ノ四　同所參番地ノ五　同所參番地ノ六　同所參番地ノ七　同所參番地ノ八　同所參番地ノ九　同所參番地ノ拾　同所參番地ノ拾壹　同所參番地ノ拾貳　同所參番地ノ拾參　同所參番地ノ拾四　同所參番地ノ拾五　同所參番地ノ拾六　同所參番地ノ拾七　同所參番地ノ拾八　同所參番地ノ拾九　同所參番地ノ貳拾　同所參番地ノ貳拾壹　同所參番地ノ貳拾貳　同所參番地ノ貳拾參　同所參番地ノ貳拾四　同所參番地ノ貳拾五　同所參番地ノ貳拾六　同所參番地ノ貳拾七　同所參番地ノ貳拾八　同所參番地ノ貳拾九　同所參番地ノ參拾　同所參番地ノ參拾壹　同所參番地ノ參拾貳　同所參番地ノ參拾參　同所參番地ノ參拾四　同所參番地ノ參拾五　同所參番地ノ參拾六　同所參番地ノ參拾七　同所參番地ノ參拾八　同所參番地ノ參拾九　同所參番地ノ四拾　同所參番地ノ四拾壹　同所參番地ノ四拾貳　同所參番地ノ四拾參　同所參番地ノ四拾四　同所參番地ノ四拾五　同所參番地ノ四拾六　同所參番地ノ四拾七　同所參番地ノ四拾八　同所參番地ノ四拾九　同所參番地ノ五拾　同所參番地ノ五拾壹　同所參番地ノ五拾貳　同所參番地ノ五拾參　同所參番地ノ五拾四　同所參番地ノ五拾五　同所參番地ノ五拾六　同所參番地ノ五拾七　同所參番地ノ五拾八　同所參番地ノ五拾九　同所參番地ノ六拾　同所參番地ノ六拾壹　同所參番地ノ六拾貳　同所參番地ノ六拾參　同所參番地ノ六拾四　同所參番地ノ六拾五　同所參番地ノ六拾六　同所參番地ノ六拾七　同所參番地ノ六拾八　同所參番地ノ六拾九　同所參番地ノ七拾　同所參番地ノ七拾壹　同所參番地ノ七拾貳　同所參番地ノ七拾參　同所參番地ノ七拾四　同所參番地ノ七拾五　同所參番地ノ七拾六　同所參番地ノ七拾七　同所參番地ノ七拾八　同所參番地ノ七拾九　同所參番地ノ八拾　同所參番地ノ八拾壹　同所參番地ノ八拾貳　同所參番地ノ八拾參　同所參番地ノ八拾四　同所參番地ノ八拾五　同所參番地ノ八拾六　同所參番地ノ八拾七　同所參番地ノ八拾八　同所參番地ノ八拾九　同所參番地ノ九拾　同所參番地ノ九拾壹　同所參番地ノ九拾貳　同所參番地ノ九拾參　同所參番地ノ九拾四　同所參番地ノ九拾五　同所參番地ノ九拾六　同所參番地ノ九拾七　同所參番地ノ九拾八　同所參番地ノ九拾九　同所參番地ノ百　同所參番地ノ百壹　同所參番地ノ百貳　同所參番地ノ百參　同所參番地ノ百四　同所參番地ノ百五　同所參番地ノ百六　同所參番地ノ百七　同所參番地ノ百八　同所參番地ノ百九　同所參番地ノ百拾　同所參番地ノ百拾壹　同所參番地ノ百拾貳　同所參番地ノ百拾參　同所參番地ノ百拾四　同所參番地ノ百拾五　同所參番地ノ百拾六　同所參番地ノ百拾七　同所參番地ノ百拾八　同所參番地ノ百拾九　同所參番地ノ百貳拾　同所參番地ノ百貳拾壹　同所參番地ノ百貳拾貳　同所參番地ノ百貳拾參　同所參番地ノ百貳拾四　同所參番地ノ百貳拾五　同所參番地ノ百貳拾六　同所參番地ノ百貳拾七　同所參番地ノ百貳拾八　同所參番地ノ百貳拾九　同所參番地ノ百參拾　同所參番地ノ百參拾壹　同所參番地ノ百參拾貳　同所參番地ノ百參拾參　同所參番地ノ百參拾四　同所參番地ノ百參拾五　同所參番地ノ百參拾六　同所參番地ノ百參拾七　同所參番地ノ百參拾八　同所參番地ノ百參拾九　同所參番地ノ百四拾　同所參番地ノ百四拾壹　同所參番地ノ百四拾貳　同所參番地ノ百四拾參　同所參番地ノ百四拾四　同所參番地ノ百四拾五　同所參番地ノ百四拾六　同所參番地ノ百四拾七　同所參番地ノ百四拾八　同所參番地ノ百四拾九　同所參番地ノ百五拾　同所參番地ノ百五拾壹　同所參番地ノ百五拾貳　同所參番地ノ百五拾參　同所參番地ノ百五拾四　同所參番地ノ百五拾五　同所參番地ノ百五拾六　同所參番地ノ百五拾七　同所參番地ノ百五拾八　同所參番地ノ百五拾九　同所參番地ノ百六拾　同所參番地ノ百六拾壹　同所參番地ノ百六拾貳　同所參番地ノ百六拾參　同所參番地ノ百六拾四　同所參番地ノ百六拾五　同所參番地ノ百六拾六　同所參番地ノ百六拾七　同所參番地ノ百六拾八　同所參番地ノ百六拾九　同所參番地ノ百七拾　同所參番地ノ百七拾壹　同所參番地ノ百七拾貳　同所參番地ノ百七拾參　同所參番地ノ百七拾四　同所參番地ノ百七拾五　同所參番地ノ百七拾六　同所參番地ノ百七拾七　同所參番地ノ百七拾八　同所參番地ノ百七拾九　同所參番地ノ百八拾　同所參番地ノ百八拾壹　同所參番地ノ百八拾貳　同所參番地ノ百八拾參　同所參番地ノ百八拾四　同所參番地ノ百八拾五　同所參番地ノ百八拾六　同所參番地ノ百八拾七　同所參番地ノ百八拾八　同所參番地ノ百八拾九　同所參番地ノ百九拾　同所參番地ノ百九拾壹　同所參番地ノ百九拾貳　同所參番地ノ百九拾參　同所參番地ノ百九拾四　同所參番地ノ百九拾五　同所參番地ノ百九拾六　同所參番地ノ百九拾七　同所參番地ノ百九拾八　同所參番地ノ百九拾九　同所參番地ノ貳百　同所參番地ノ貳百壹　同所參番地ノ貳百貳　同所參番地ノ貳百參　同所參番地ノ貳百四　同所參番地ノ貳百五　同所參番地ノ貳百六　同所參番地ノ貳百七　同所參番地ノ貳百八　同所參番地ノ貳百九　同所參番地ノ貳百拾　同所參番地ノ貳百拾壹　同所參番地ノ貳百拾貳　同所參番地ノ貳百拾參　同所參番地ノ貳百拾四　同所參番地ノ貳百拾五　同所參番地ノ貳百拾六　同所參番地ノ貳百拾七　同所參番地ノ貳百拾八　同所參番地ノ貳百拾九　同所參番地ノ貳百參拾　同所參番地ノ貳百參拾壹　同所參番地ノ貳百參拾貳　同所參番地ノ貳百參拾參　同所參番地ノ貳百參拾四　同所參番地ノ貳百參拾五　同所參番地ノ貳百參拾六　同所參番地ノ貳百參拾七　同所參番地ノ貳百參拾八　同所參番地ノ貳百參拾九　同所參番地ノ貳百四拾　同所參番地ノ貳百四拾壹　同所參番地ノ貳百四拾貳　同所參番地ノ貳百四拾參　同所參番地ノ貳百四拾四　同所參番地ノ貳百四拾五　同所參番地ノ貳百四拾六　同所參番地ノ貳百四拾七　同所參番地ノ貳百四拾八　同所參番地ノ貳百四拾九　同所參番地ノ貳百五拾　同所參番地ノ貳百五拾壹　同所參番地ノ貳百五拾貳　同所參番地ノ貳百五拾參　同所參番地ノ貳百五拾四　同所參番地ノ貳百五拾五　同所參番地ノ貳百五拾六　同所參番地ノ貳百五拾七　同所參番地ノ貳百五拾八　同所參番地ノ貳百五拾九　同所參番地ノ貳百六拾　同所參番地ノ貳百六拾壹　同所參番地ノ貳百六拾貳　同所參番地ノ貳百六拾參　同所參番地ノ貳百六拾四　同所參番地ノ貳百六拾五　同所參番地ノ貳百六拾六　同所參番地ノ貳百六拾七　同所參番地ノ貳百六拾八　同所參番地ノ貳百六拾九　同所參番地ノ貳百七拾　同所參番地ノ貳百七拾壹　同所參番地ノ貳百七拾貳　同所參番地ノ貳百七拾參　同所參番地ノ貳百七拾四　同所參番地ノ貳百七拾五　同所參番地ノ貳百七拾六　同所參番地ノ貳百七拾七　同所參番地ノ貳百七拾八　同所參番地ノ貳百七拾九　同所參番地ノ貳百八拾　同所參番地ノ貳百八拾壹　同所參番地ノ貳百八拾貳　同所參番地ノ貳百八拾參　同所參番地ノ貳百八拾四　同所參番地ノ貳百八拾五　同所參番地ノ貳百八拾六　同所參番地ノ貳百八拾七　同所參番地ノ貳百八拾八　同所參番地ノ貳百八拾九　同所參番地ノ貳百九拾　同所參番地ノ貳百九拾壹　同所參番地ノ貳百九拾貳　同所參番地ノ貳百九拾參　同所參番地ノ貳百九拾四　同所參番地ノ貳百九拾五　同所參番地ノ貳百九拾六　同所參番地ノ貳百九拾七　同所參番地ノ貳百九拾八　同所參番地ノ貳百九拾九　同所參番地ノ參百　同所參番地ノ參百壹　同所參番地ノ參百貳　同所參番地ノ參百參　同所參番地ノ參百四　同所參番地ノ參百五　同所參番地ノ參百六　同所參番地ノ參百七　同所參番地ノ參百八　同所參番地ノ參百九　同所參番地ノ參百拾　同所參番地ノ參百拾壹　同所參番地ノ參百拾貳　同所參番地ノ參百拾參　同所參番地ノ參百拾四　同所參番地ノ參百拾五　同所參番地ノ參百拾六　同所參番地ノ參百拾七　同所參番地ノ參百拾八　同所參番地ノ參百拾九　同所參番地ノ參百貳拾　同所參番地ノ參百貳拾壹　同所參番地ノ參百貳拾貳　同所參番地ノ參百貳拾參　同所參番地ノ參百貳拾四　同所參番地ノ參百貳拾五　同所參番地ノ參百貳拾六　同所參番地ノ參百貳拾七　同所參番地ノ參百貳拾八　同所參番地ノ參百貳拾九　同所參番地ノ參百參拾　同所參番地ノ參百參拾壹　同所參番地ノ參百參拾貳　同所參番地ノ參百參拾參　同所參番地ノ參百參拾四　同所參番地ノ參百參拾五　同所參番地ノ參百參拾六　同所參番地ノ參百參拾七　同所參番地ノ參百參拾八　同所參番地ノ參百參拾九　同所參番地ノ參百四拾　同所參番地ノ參百四拾壹　同所參番地ノ參百四拾貳　同所參番地ノ參百四拾參　同所參番地ノ參百四拾四　同所參番地ノ參百四拾五　同所參番地ノ參百四拾六　同所參番地ノ參百四拾七　同所參番地ノ參百四拾八　同所參番地ノ參百四拾九　同所參番地ノ參百五拾　同所參番地ノ參百五拾壹　同所參番地ノ參百五拾貳　同所參番地ノ參百五拾參　同所參番地ノ參百五拾四　同所參番地ノ參百五拾五　同所參番地ノ參百五拾六　同所參番地ノ參百五拾七　同所參番地ノ參百五拾八　同所參番地ノ參百五拾九　同所參番地ノ參百六拾　同所參番地ノ參百六拾壹　同所參番地ノ參百六拾貳　同所參番地ノ參百六拾參　同所參番地ノ參百六拾四　同所參番地ノ參百六拾五　同所參番地ノ參百六拾六　同所參番地ノ參百六拾七　同所參番地ノ參百六拾八　同所參番地ノ參百六拾九　同所參番地ノ參百七拾　同所參番地ノ參百七拾壹　同所參番地ノ參百七拾貳　同所參番地ノ參百七拾參　同所參番地ノ參百七拾四　同所參番地ノ參百七拾五　同所參番地ノ參百七拾六　同所參番地ノ參百七拾七　同所參番地ノ參百七拾八　同所參番地ノ參百七拾九　同所參番地ノ參百八拾　同所參番地ノ參百八拾壹　同所參番地ノ參百八拾貳　同所參番地ノ參百八拾參　同所參番地ノ參百八拾四　同所參番地ノ參百八拾五　同所參番地ノ參百八拾六　同所參番地ノ參百八拾七　同所參番地ノ參百八拾八　同所參番地ノ參百八拾九　同所參番地ノ參百九拾　同所參番地ノ參百九拾壹　同所參番地ノ參百九拾貳　同所參番地ノ參百九拾參　同所參番地ノ參百九拾四　同所參番地ノ參百九拾五　同所參番地ノ參百九拾六　同所參番地ノ參百九拾七　同所參番地ノ參百九拾八　同所參番地ノ參百九拾九　同所參番地ノ四百　同所參番地ノ四百壹　同所參番地ノ四百貳　同所參番地ノ四百參　同所參番地ノ四百四　同所參番地ノ四百五　同所參番地ノ四百六　同所參番地ノ四百七　同所參番地ノ四百八　同所參番地ノ四百九　同所參番地ノ四百拾　同所參番地ノ四百拾壹　同所參番地ノ四百拾貳　同所參番地ノ四百拾參　同所參番地ノ四百拾四　同所參番地ノ四百拾五　同所參番地ノ四百拾六　同所參番地ノ四百拾七　同所參番地ノ四百拾八　同所參番地ノ四百拾九　同所參番地ノ四百貳拾　同所參番地ノ四百貳拾壹　同所參番地ノ四百貳拾貳　同所參番地ノ四百貳拾參　同所參番地ノ四百貳拾四　同所參番地ノ四百貳拾五　同所參番地ノ四百貳拾六　同所參番地ノ四百貳拾七　同所參番地ノ四百貳拾八　同所參番地ノ四百貳拾九　同所參番地ノ四百參拾　同所參番地ノ四百參拾壹　同所參番地ノ四百參拾貳　同所參番地ノ四百參拾參　同所參番地ノ四百參拾四　同所參番地ノ四百參拾五　同所參番地ノ四百參拾六　同所參番地ノ四百參拾七　同所參番地ノ四百參拾八　同所參番地ノ四百參拾九　同所參番地ノ四百四拾　同所參番地ノ四百四拾壹　同所參番地ノ四百四拾貳　同所參番地ノ四百四拾參　同所參番地ノ四百四拾四　同所參番地ノ四百四拾五　同所參番地ノ四百四拾六　同所參番地ノ四百四拾七　同所參番地ノ四百四拾八　同所參番地ノ四百四拾九　同所參番地ノ四百五拾　同所參番地ノ四百五拾壹　同所參番地ノ四百五拾貳　同所參番地ノ四百五拾參　同所參番地ノ四百五拾四　同所參番地ノ四百五拾五　同所參番地ノ四百五拾六　同所參番地ノ四百五拾七　同所參番地ノ四百五拾八　同所參番地ノ四百五拾九　同所參番地ノ四百六拾　同所參番地ノ四百六拾壹　同所參番地ノ四百六拾貳　同所參番地ノ四百六拾參　同所參番地ノ四百六拾四　同所參番地ノ四百六拾五　同所參番地ノ四百六拾六　同所參番地ノ四百六拾七　同所參番地ノ四百六拾八　同所參番地ノ四百六拾九　同所參番地ノ四百七拾　同所參番地ノ四百七拾壹　同所參番地ノ四百七拾貳　同所參番地ノ四百七拾參　同所參番地ノ四百七拾四　同所參番地ノ四百七拾五　同所參番地ノ四百七拾六　同所參番地ノ四百七拾七　同所參番地ノ四百七拾八　同所參番地ノ四百七拾九　同所參番地ノ四百八拾　同所參番地ノ四百八拾壹　同所參番地ノ四百八拾貳　同所參番地ノ四百八拾參　同所參番地ノ四百八拾四　同所參番地ノ四百八拾五　同所參番地ノ四百八拾六　同所參番地ノ四百八拾七　同所參番地ノ四百八拾八　同所參番地ノ四百八拾九　同所參番地ノ四百九拾　同所參番地ノ四百九拾壹　同所參番地ノ四百九拾貳　同所參番地ノ四百九拾參　同所參番地ノ四百九拾四　同所參番地ノ四百九拾五　同所參番地ノ四百九拾六　同所參番地ノ四百九拾七　同所參番地ノ四百九拾八　同所參番地ノ四百九拾九　同所參番地ノ五百　同所參番地ノ五百壹　同所參番地ノ五百貳　同所參番地ノ五百參　同所參番地ノ五百四　同所參番地ノ五百五　同所參番地ノ五百六　同所參番地ノ五百七　同所參番地ノ五百八　同所參番地ノ五百九　同所參番地ノ五百拾　同所參番地ノ五百拾壹　同所參番地ノ五百拾貳　同所參番地ノ五百拾參　同所參番地ノ五百拾四　同所參番地ノ五百拾五　同所參番地ノ五百拾六　同所參番地ノ五百拾七　同所參番地ノ五百拾八　同所參番地ノ五百拾九　同所參番地ノ五百貳拾　同所參番地ノ五百貳拾壹　同所參番地ノ五百貳拾貳　同所參番地ノ五百貳拾參　同所參番地ノ五百貳拾四　同所參番地ノ五百貳拾五　同所參番地ノ五百貳拾六　同所參番地ノ五百貳拾七　同所參番地ノ五百貳拾八　同所參番地ノ五百貳拾九　同所參番地ノ五百參拾　同所參番地ノ五百參拾壹　同所參番地ノ五百參拾貳　同所參番地ノ五百參拾參　同所參番地ノ五百參拾四　同所參番地ノ五百參拾五　同所參番地ノ五百參拾六　同所參番地ノ五百參拾七　同所參番地ノ五百參拾八　同所參番地ノ五百參拾九　同所參番地ノ五百四拾　同所參番地ノ五百四拾壹　同所參番地ノ五百四拾貳　同所參番地ノ五百四拾參　同所參番地ノ五百四拾四　同所參番地ノ五百四拾五　同所參番地ノ五百四拾六　同所參番地ノ五百四拾七　同所參番地ノ五百四拾八　同所參番地ノ五百四拾九　同所參番地ノ五百五拾　同所參番地ノ五百五拾壹　同所參番地ノ五百五拾貳　同所參番地ノ五百五拾參　同所參番地ノ五百五拾四　同所參番地ノ五百五拾五　同所參番地ノ五百五拾六　同所參番地ノ五百五拾七　同所參番地ノ五百五拾八　同所參番地ノ五百五拾九　同所參番地ノ五百六拾　同所參番地ノ五百六拾壹　同所參番地ノ五百六拾貳　同所參番地ノ五百六拾參　同所參番地ノ五百六拾四　同所參番地ノ五百六拾五　同所參番地ノ五百六拾六　同所參番地ノ五百六拾七　同所參番地ノ五百六拾八　同所參番地ノ五百六拾九　同所參番地ノ五百七拾　同所參番地ノ五百七拾壹　同所參番地ノ五百七拾貳　同所參番地ノ五百七拾參　同所參番地ノ五百七拾四　同所參番地ノ五百七拾五　同所參番地ノ五百七拾六　同所參番地ノ五百七拾七　同所參番地ノ五百七拾八　同所參番地ノ五百七拾九　同所參番地ノ五百八拾　同所參番地ノ五百八拾壹　同所參番地ノ五百八拾貳　同所參番地ノ五百八拾參　同所參番地ノ五百八拾四　同所參番地ノ五百八拾五　同所參番地ノ五百八拾六　同所參番地ノ五百八拾七　同所參番地ノ五百八拾八　同所參番地ノ五百八拾九　同所參番地ノ五百九拾　同所參番地ノ五百九拾壹　同所參番地ノ五百九拾貳　同所參番地ノ五百九拾參　同所參番地ノ五百九拾四　同所參番地ノ五百九拾五　同所參番地ノ五百九拾六　同所參番地ノ五百九拾七　同所參番地ノ五百九拾八　同所參番地ノ五百九拾九　同所參番地ノ六百　同所參番地ノ六百壹　同所參番地ノ六百貳　同所參番地ノ六百參　同所參番地ノ六百四　同所參番地ノ六百五　同所參番地ノ六百六　同所參番地ノ六百七　同所參番地ノ六百八　同所參番地ノ六百九　同所參番地ノ六百拾　同所參番地ノ六百拾壹　同所參番地ノ六百拾貳　同所參番地ノ六百拾參　同所參番地ノ六百拾四　同所參番地ノ六百拾五　同所參番地ノ六百拾六　同所參番地ノ六百拾七　同所參番地ノ六百拾八　同所參番地ノ六百拾九　同所參番地ノ六百貳拾　同所參番地ノ六百貳拾壹　同所參番地ノ六百貳拾貳　同所參番地ノ六百貳拾參　同所參番地ノ六百貳拾四　同所參番地ノ六百貳拾五　同所參番地ノ六百貳拾六　同所參番地ノ六百貳拾七　同所參番地ノ六百貳拾八　同所參番地ノ六百貳拾九　同所參番地ノ六百參拾　同所參番地ノ六百參拾壹　同所參番地ノ六百參拾貳　同所參番地ノ六百參拾參　同所參番地ノ六百參拾四　同所參番地ノ六百參拾五　同所參番地ノ六百參拾六　同所參番地ノ六百參拾七　同所參番地ノ六百參拾八　同所參番地ノ六百參拾九　同所參番地ノ六百四拾　同所參番地ノ六百四拾壹　同所參番地ノ六百四拾貳　同所參番地ノ六百四拾參　同所參番地ノ六百四拾四　同所參番地ノ六百四拾五　同所參番地ノ六百四拾六　同所參番地ノ六百四拾七　同所參番地ノ六百四拾八　同所參番地ノ六百四拾九　同所參番地ノ六百五拾　同所參番地ノ六百五拾壹　同所參番地ノ六百五拾貳　同所參番地ノ六百五拾參　同所參番地ノ六百五拾四　同所參番地ノ六百五拾五　同所參番地ノ六百五拾六　同所參番地ノ六百五拾七　同所參番地ノ六百五拾八　同所參番地ノ六百五拾九　同所參番地ノ六百六拾　同所參番地ノ六百六拾壹　同所參番地ノ六百六拾貳　同所參番地ノ六百六拾參　同所參番地ノ六百六拾四　同所參番地ノ六百六拾五　同所參番地ノ六百六拾六　同所參番地ノ六百六拾七　同所參番地ノ六百六拾八　同所參番地ノ六百六拾九　同所參番地ノ六百七拾　同所參番地ノ六百七拾壹　同所參番地ノ六百七拾貳　同所參番地ノ六百七拾參　同所參番地ノ六百七拾四　同所參番地ノ六百七拾五　同所參番地ノ六百七拾六　同所參番地ノ六百七拾七　同所參番地ノ六百七拾八　同所參番地ノ六百七拾九　同所參番地ノ六百八拾　同所參番地ノ六百八拾壹　同所參番地ノ六百八拾貳　同所參番地ノ六百八拾參　同所參番地ノ六百八拾四　同所參番地ノ六百八拾五　同所參番地ノ六百八拾六　同所參番地ノ六百八拾七　同所參番地ノ六百八拾八　同所參番地ノ六百八拾九　同所參番地ノ六百九拾　同所參番地ノ六百九拾壹　同所參番地ノ六百九拾貳　同所參番地ノ六百九拾參　同所參番地ノ六百九拾四　同所參番地ノ六百九拾五　同所參番地ノ六百九拾六　同所參番地ノ六百九拾七　同所參番地ノ六百九拾八　同所參番地ノ六百九拾九　同所參番地ノ七百　同所參番地ノ七百壹　同所參番地ノ七百貳　同所參番地ノ七百參　同所參番地ノ七百四　同所參番地ノ七百五　同所參番地ノ七百六　同所參番地ノ七百七　同所參番地ノ七百八　同所參番地ノ七百九　同所參番地ノ七百拾　同所參番地ノ七百拾壹　同所參番地ノ七百拾貳　同所參番地ノ七百拾參　同所參番地ノ七百拾四　同所參番地ノ七百拾五　同所參番地ノ七百拾六　同所參番地ノ七百拾七　同所參番地ノ七百拾八　同所參番地ノ七百拾九　同所參番地ノ七百貳拾　同所參番地ノ七百貳拾壹　同所參番地ノ七百貳拾貳　同所參番地ノ七百貳拾參　同所參番地ノ七百貳拾四　同所參番地ノ七百貳拾五　同所參番地ノ七百貳拾六　同所參番地ノ七百貳拾七　同所參番地ノ七百貳拾八　同所參番地ノ七百貳拾九　同所參番地ノ七百參拾　同所參番地ノ七百參拾壹　同所參番地ノ七百參拾貳　同所參番地ノ七百參拾參　同所參番地ノ七百參拾四　同所參番地ノ七百參拾五　同所參番地ノ七百參拾六　同所參番地ノ七百參拾七　同所參番地ノ七百參拾八　同所參番地ノ七百參拾九　同所參番地ノ七百四拾　同所參番地ノ七百四拾壹　同所參番地ノ七百四拾貳　同所參番地ノ七百四拾參　同所參番地ノ七百四拾四　同所參番地ノ七百四拾五　同所參番地ノ七百四拾六　同所參番地ノ七百四拾七　同所參番地ノ七百四拾八　同所參番地ノ七百四拾九　同所參番地ノ七百五拾　同所參番地ノ七百五拾壹　同所參番地ノ七百五拾貳　同所參番地ノ七百五拾參　同所參番地ノ七百五拾四　同所參番地ノ七百五拾五　同所參番地ノ七百五拾六　同所參番地ノ七百五拾七　同所參番地ノ七百五拾八　同所參番地ノ七百五拾九　同所參番地ノ七百六拾　同所參番地ノ七百六拾壹　同所參番地ノ七百六拾貳　同所參番地ノ七百六拾參　同所參番地ノ七百六拾四　同所參番地ノ七百六拾五　同所參番地ノ七百六拾六　同所參番地ノ七百六拾七　同所參番地ノ七百六拾八　同所參番地ノ七百六拾九　同所參番地ノ七百七拾　同所參番地ノ七百七拾壹　同所參番地ノ七百七拾貳　同所參番地ノ七百七拾參　同所參番地ノ七百七拾四　同所參番地ノ七百七拾五　同所參番地ノ七百七拾六　同所參番地ノ七百七拾七　同所參番地ノ七百七拾八　同所參番地ノ七百七拾九　同所參番地ノ七百八拾　同所參番地ノ七百八拾壹　同所參番地ノ七百八拾貳　同所參番地ノ七百八拾參　同所參番地ノ七百八拾四　同所參番地ノ七百八拾五　同所參番地ノ七百八拾六　同所參番地ノ七百八拾七　同所參番地ノ七百八拾八　同所參番地ノ七百八拾九　同所參番地ノ七百九拾　同所參番地ノ七百九拾壹　同所參番地ノ七百九拾貳　同所參番地ノ七百九拾參　同所參番地ノ七百九拾四　同所參番地ノ七百九拾五　同所參番地ノ七百九拾六　同所參番地ノ七百九拾七　同所參番地ノ七百九拾八　同所參番地ノ七百九拾九　同所參番地ノ八百　同所參番地ノ八百壹　同所參番地ノ八百貳　同所參番地ノ八百參　同所參番地ノ八百四　同所參番地ノ八百五　同所參番地ノ八百六　同所參番地ノ八百七　同所參番地ノ八百八　同所參番地ノ八百九　同所參番地ノ八百拾　同所參番地ノ八百拾壹　同所參番地ノ八百拾貳　同所參番地ノ八百拾參　同所參番地ノ八百拾四　同所參番地ノ八百拾五　同所參番地ノ八百拾六　同所參番地ノ八百拾七　同所參番地ノ八百拾八　同所參番地ノ八百拾九　同所參番地ノ八百貳拾　同所參番地ノ八百貳拾壹　同所參番地ノ八百貳拾貳　同所參番地ノ八百貳拾參　同所參番地ノ八百貳拾四　同所參番地ノ八百貳拾五　同所參番地ノ八百貳拾六　同所參番地ノ八百貳拾七　同所參番地ノ八百貳拾八　同所參番地ノ八百貳拾九　同所參番地ノ八百參拾　同所參番地ノ八百參拾壹　同所參番地ノ八百參拾貳　同所參番地ノ八百參拾參　同所參番地ノ八百參拾四　同所參番地ノ八百參拾五　同所參番地ノ八百參拾六　同所參番地ノ八百參拾七　同所參番地ノ八百參拾八　同所參番地ノ八百參拾九　同所參番地ノ八百四拾　同所參番地ノ八百四拾壹　同所參番地ノ八百四拾貳　同所參番地ノ八百四拾參　同所參番地ノ八百四拾四　同所參番地ノ八百四拾五　同所參番地ノ八百四拾六　同所參番地ノ八百四拾七　同所參番地ノ八百四拾八　同所參番地ノ八百四拾九　同所參番地ノ八百五拾　同所參番地ノ八百五拾壹　同所參番地ノ八百五拾貳　同所參番地ノ八百五拾參　同所參番地ノ八百五拾四　同所參番地ノ八百五拾五　同所參番地ノ八百五拾六　同所參番地ノ八百五拾七　同所參番地ノ八百五拾八　同所參番地ノ八百五拾九　同所參番地ノ八百六拾　同所參番地ノ八百六拾壹　同所參番地ノ八百六拾貳　同所參番地ノ八百六拾參　同所參番地ノ八百六拾四　同所參番地ノ八百六拾五　同所參番地ノ八百六拾六　同所參番地ノ八百六拾七　同所參番地ノ八百六拾八　同所參番地ノ八百六拾九　同所參番地ノ八百七拾　同所參番地ノ八百七拾壹　同所參番地ノ八百七拾貳　同所參番地ノ八百七拾參　同所參番地ノ八百七拾四　同所參番地ノ八百七拾五　同所參番地ノ八百七拾六　同所參番地ノ八百七拾七　同所參番地ノ八百七拾八　同所參番地ノ八百七拾九　同所參番地ノ八百八拾　同所參番地ノ八百八拾壹　同所參番地ノ八百八拾貳　同所參番地ノ八百八拾參　同所參番地ノ八百八拾四　同所參番地ノ八百八拾五　同所參番地ノ八百八拾六　同所參番地ノ八百八拾七　同所參番地ノ八百八拾八　同所參番地ノ八百八拾九　同所參番地ノ八百九拾　同所參番地ノ八百九拾壹　同所參番地ノ八百九拾貳　同所參番地ノ八百九拾參　同所參番地ノ八百九拾四　同所參番地ノ八百九拾五　同所參番地ノ八百九拾六　同所參番地ノ八百九拾七　同所參番地ノ八百九拾八　同所參番地ノ八百九拾九　同所參番地ノ九百　同所參番地ノ九百壹　同所參番地ノ九百貳　同所參番地ノ九百參　同所參番地ノ九百四　同所參番地ノ九百五　同所參番地ノ九百六　同所參番地ノ九百七　同所參番地ノ九百八　同所參番地ノ九百九　同所參番地ノ九百拾　同所參番地ノ九百拾壹　同所參番地ノ九百拾貳　同所參番地ノ九百拾參　同所參番地ノ九百拾四　同所參番地ノ九百拾五　同所參番地ノ九百拾六　同所參番地ノ九百拾七　同所參番地ノ九百拾八　同所參番地ノ九百拾九　同所參番地ノ九百貳拾　同所參番地ノ九百貳拾壹　同所參番地ノ九百貳拾貳　同所參番地ノ九百貳拾參　同所參番地ノ九百貳拾四　同所參番地ノ九百貳拾五　同所參番地ノ九百貳拾六　同所參番地ノ九百貳拾七　同所參番地ノ九百貳拾八　同所參番地ノ九百貳拾九　同所參番地ノ九百參拾　同所參番地ノ九百參拾壹　同所參番地ノ九百參拾貳　同所參番地ノ九百參拾參　同所參番地ノ九百參拾四　同所參番地ノ九百參拾五　同所參番地ノ九百參拾六　同所參番地ノ九百參拾七　同所參番地ノ九百參拾八　同所參番地ノ九百參拾九　同所參番地ノ九百四拾　同所參番地ノ九百四拾壹　同所參番地ノ九百四拾貳　同所參番地ノ九百四拾參　同所參番地ノ九百四拾四　同所參番地ノ九百四拾五　同所參番地ノ九百四拾六　同所參番地ノ九百四拾七　同所參番地ノ九百四拾八　同所參番地ノ九百四拾九　同所參番地ノ九百五拾　同所參番地ノ九百五拾壹　同所參番地ノ九百五拾貳　同所參番地ノ九百五拾參　同所參番地ノ九百五拾四　同所參番地ノ九百五拾五　同所參番地ノ九百五拾六　同所參番地ノ九百五拾七　同所參番地ノ九百五拾八　同所參番地ノ九百五拾九　同所參番地ノ九百六拾　同所參番地ノ九百六拾壹　同所參番地ノ九百六拾貳　同所參番地ノ九百六拾參　同所參番地ノ九百六拾四　同所參番地ノ九百六拾五　同所參番地ノ九百六拾六　同所參番地ノ九百六拾七　同所參番地ノ九百六拾八　同所參番地ノ九百六拾九　同所參番地ノ九百七拾　同所參番地ノ九百七拾壹　同所參番地ノ九百七拾貳　同所參番地ノ九百七拾參　同所參番地ノ九百七拾四　同所參番地ノ九百七拾五　同所參番地ノ九百七拾六　同所參番地ノ九百七拾七　同所參番地ノ九百七拾八　同所參番地ノ九百七拾九　同所參番地ノ九百八拾　同所參番地ノ九百八拾壹　同所參番地ノ九百八拾貳　同所參番地ノ九百八拾參　同所參番地ノ九百八拾四　同所參番地ノ九百八拾五　同所參番地ノ九百八拾六　同所參番地ノ九百八拾七　同所參番地ノ九百八拾八　同所參番地ノ九百八拾九　同所參番地ノ九百九拾　同所參番地ノ九百九拾壹　同所參番地ノ九百九拾貳　同所參番地ノ九百九拾參　同所參番地ノ九百九拾四　同所參番地ノ九百九拾五　同所參番地ノ九百九拾六　同所參番地ノ九百九拾七　同所參番地ノ九百九拾八　同所參番地ノ九百九拾九　同所參番地ノ壹千　同所參番地ノ壹千壹　同所參番地ノ壹千貳　同所參番地ノ壹千參　同所參番地ノ壹千四　同所參番地ノ壹千五　同所參番地ノ壹千六　同所參番地ノ壹千七　同所參番地ノ壹千八　同所參番地ノ壹千九　同所參番地ノ壹千拾　同所參番地ノ壹千拾壹　同所參番地ノ壹千拾貳　同所參番地ノ壹千拾參　同所參番地ノ壹千拾四　同所參番地ノ壹千拾五　同所參番地ノ壹千拾六　同所參番地ノ壹千拾七　同所參番地ノ壹千拾八　同所參番地ノ壹千拾九　同所參番地ノ壹千貳拾　同所參番地ノ壹千貳拾壹　同所參番地ノ壹千貳拾貳　同所參番地ノ壹千貳拾參　同所參番地ノ壹千貳拾四　同所參番地ノ壹千貳拾五　同所參番地ノ壹千貳拾六　同所參番地ノ壹千貳拾七　同所參番地ノ壹千貳拾八　同所參番地ノ壹千貳拾九　同所參番地ノ壹千參拾　同所參番地ノ壹千參拾壹　同所參番地ノ壹千參拾貳　同所參番地ノ壹千參拾參　同所參番地ノ壹千參拾四　同所參番地ノ壹千參拾五　同所參番地ノ壹千參拾六　同所參番地ノ壹千參拾七　同所參番地ノ壹千參拾八　同所參番地ノ壹千參拾九　同所參番地ノ壹千四拾　同所參番地ノ壹千四拾壹　同所參番地ノ壹千四拾貳　同所參番地ノ壹千四拾參　同所參番地ノ壹千四拾四　同所參番地ノ壹千四拾五　同所參番地ノ壹千四拾六　同所參番地ノ壹千四拾七　同所參番地ノ壹千四拾八　同所參番地ノ壹千四拾九　同所參番地ノ壹千五拾　同所參番地ノ壹千五拾壹　同所參番地ノ壹千五拾貳　同所參番地ノ壹千五拾參　同所參番地ノ壹千五拾四　同所參番地ノ壹千五拾五　同所參番地ノ壹千五拾六　同所參番地ノ壹千五拾七　同所參番地ノ壹千五拾八　同所參番地ノ壹千五拾九　同所參番地ノ壹千六拾　同所參番地ノ壹千六拾壹　同所參番地ノ壹千六拾貳　同所參番地ノ壹千六拾參　同所參番地ノ壹千六拾四　同所參番地ノ壹千六拾五　同所參番地ノ壹千六拾六　同所參番地ノ壹千六拾七　同所參番地ノ壹千六拾八　同所參番地ノ壹千六拾九　同所參番地ノ壹千七拾　同所參番地ノ壹千七拾壹　同所參番地ノ壹千七拾貳　同所參番地ノ壹千七拾參　同所參番地ノ壹千七拾四　同所參番地ノ壹千七拾

松田文相急逝の後任
川崎卓吉氏に決定
けふ親任式を擧行

【東京一日發電】松田文相急逝に伴ふ後任については岡田首相と前田商相との間に協議の結果民政黨幹事長川崎卓吉氏を推す事に決定した。依つて岡田首相は官邸に臺内文相現役の儘を入れ

御裁可を仰ぎ親任式は速やかに擧行する筈（發表は川崎氏）

任文部大臣

勲三等川崎卓吉

【東京一日發電】松田文相は一月卅日午前十時頃突然に不幸ありとその時間に出掛け閣議欠席の上官邸に帰り午後山梨の自宅に帰り次で葬儀のため服装を着ふくる着替の途中急変悪しくなり其儘息を引取つた。家族は直ちに手當し國葬の來否を求めたが其效ひがなかつた（寫眞は松田文相）

【東京一日發電】松田文相急逝に伴ふ後任については岡田首相と前田商相との間に協議の結果民政黨幹事長川崎卓吉氏を推す事に決定した。依つて岡田首相は官邸に臺内文相現役の儘を入れ

御裁可を仰ぎ親任式は速やかに擧行する筈（發表は川崎氏）

任文部大臣

勲三等川崎卓吉

器ではないが
新文相感想を語る

一部受けることに決めた。入閣に際しての抱負という様なことは別にないが今問題になつてゐる首相の遊説問題に關しては内務司法方面でも別に異議ないし、其他の閣僚の意見も一致して望望してゐるのだから多分遊説することになるだらう、自分としても首相が此際政府の政策を國民に闡明することは望ましいことだと思つてゐる、民政黨としては總選擧を控へ多忙な時であつて後任幹部問題は非常に大切であるが誰かがやつてやつてくれるかに就てはまだはつきりしない

岡田内閣には
多大の補強
川崎氏の入閣好影響

【東京一日發】岡田首相は文相後任に民政黨幹事長川崎卓吉氏を起用したが、右は岡田内閣にとつて補強工作が行はれた效果が現れたものと見られてゐる

即ち昨年床次遞相の死去による政友會問題で民政黨側は非常な不利を招き第六十八議會開會前後より再び政、民兩黨の對立が顯著に現はれ政友會の政府不信任決議提出で一時解消したが選擧後には當然繼續するものとして各方面より非常な注目を集めてゐた所今回この運動の主流を爲してゐた川崎氏が入閣し民政黨の中心を民政黨側の不滿で政友會に於て正式決定することとなつた

臺灣とも緣故深い
新文相・川崎卓吉氏

【東京一日發】文相の急逝を悼む聲は川崎卓吉氏は民政黨内に於ても重きを爲し國會大會議員に擧げられ殊に昨秋床次遞信總裁に依る政友會内閣問題の際は田中首相から内閣を組織して呉れとの懇請があつたが、對政友會策上斷然これを拒絶した經緯があり今日の「大臣就任」の形に至つた

川崎氏は臺灣の產、明治四年生れだから今年滿で六十六歳であるが、若い時から經驗も豐富であり、三十六年東大獨法科を卒へ大藏省に入り專賣局長、總督府内務、警務、殖產各局長を歷任して後藤新平元老の信任厚く臺灣の發展に盡瘁した名士である

後藤伯の知遇を得て民政黨に入黨當時から幹部の一人として重きを爲し、加藤内閣の遞信大臣、若槻内閣の内務大臣として入閣し、其後は政友會の床次氏と共に政友會を脫黨して政友本黨を組織し、其後政友本黨が解消して民政黨に合同するや同黨の總裁に推されて衆議院議長に選ばれ、政友會が鈴木内閣を組織するや同内閣の司法大臣となり、間もなく官を辭して弁護士を開業し、明治四十一年郷里から推されて衆議院議員となり、政友會有數の辯士として知られ衆議院副議長に選ばれ、政友會が鈴木内閣を組織するや同内閣の拓務大臣となり、岡田内閣成立と共に文部大臣に就任今日に至つたものである、昭和七年の總選擧中に鄕里大分縣の選擧區に於て民政黨の選擧區に於て民政黨の選擧區に於て民政黨

昨年の本島鑛業界

産金の躍進と石炭の增産が目立つ

油田開發に努力邁進を期待さる

去二十九日開催の臺灣鑛業會總會に於て會長藤田利吉氏が演述した昨年中の本島鑛業界の概況は次の通りである

(前略)臺灣鑛業界は明治四十五年秋臺灣鑛業會創立され一時鑛業界が不況のドン底に陷り不振時代を辿つたので何等積極的の施しもなく經過したのであるが昨秋紀元二千六百年祝賀會が開催せらるゝや之が好機として本島鑛業會と協力して鑛業大會を開催したところ日本鑛業會から多數名士が來遊され十月五、六兩日に亙り會場側自前の發兌を見た一方鑛業會に於ては當局の多大なる御援助と當業各位の御奮勵努力に依り

鐵山館を

特設し各方面から應募された時代に適切な

金融情勢は不穩

基調に何ら變化無し

今後尚ほ信用制度の濫用を戒め

惡性インフレ誘發を避けよ

深井日銀總裁談

「東京一日發本社特電」東京手形交換所新年營業は二十一日後六時より銀行倶樂部に於て開催、深井日銀總裁はじめ如何に祝辭した昨年中の金融情勢に對する感想を次の如く述べた

(前略)昨年の金融界は概して緩慢裡に推移し金融は頗る圓滑に行はれ年末は僅か十八億二千萬圓に增加し一方貸出しは八億八千五百萬圓と前年より五千二百萬圓少なかつたのは、その間金額備に於て二千七百萬圓金買入れに伴ひ政府借上金に於て九千八百萬圓の增加を見てゐるが主因である、その後貸金の回收は漸次で順調に行はれ全く平靜裡に推移した、即ち金融の情勢は時に大小の波瀾あるも基礎觀從來に何等の變化なく認められ得る、從つて、金融界情勢の一時的變化に捉れて評動するは無定見を露呈するものである、今後も金融緩慢は續續すべく金融に緩和化こそ見よい、一方本邦產業及び貿易の情勢を見るにも一層圓滑なる運營を續け、物價及び金利は適當なる水準に維持されてゐる、金本位離脫による爲替インフレーション等にも拘らず物價

統制強化

と相俟つて前述の如く緩慢裡に推移したが、昨年は金に少額ながら金融緩に突破して昨年は金に少くも數百萬圓の大差を生ずる至つたが、時勢は何れも多く金を石炭を要求して已まず

進歩努力

する傾向であつて前年より鑛業を總體的に發展する外に昨年は海軍では甲仙第一號、日石社では通霄第一號井、中和第一號井、臺陽では第一號井、第二號井、竹東第五號井、大東第一號井、新興第一號井、第六號井、第七號井、第八號井、第九號井、第十號井、第十一號井、第十二號井、第十三號井、第十四號井、第十五號井、第十六號井、第十七號井、第十八號井、第十九號井、第二十號井、第二十一號井、第二十二號井、第二十三號井、第二十四號井、第二十五號井、第二十六號井、第二十七號井、第二十八號井、第二十九號井、第三十號井、第三十一號井、第三十二號井、第三十三號井、第三十四號井、第三十五號井、第三十六號井、第三十七號井、第三十八號井、第三十九號井、第四十號井、第四十一號井、第四十二號井、第四十三號井、第四十四號井、第四十五號井、第四十六號井、第四十七號井、第四十八號井、第四十九號井、第五十號井、第五十一號井、第五十二號井、第五十三號井、第五十四號井、第五十五號井、第五十六號井、第五十七號井、第五十八號井、第五十九號井、第六十號井、第六十一號井、第六十二號井、第六十三號井、第六十四號井、第六十五號井、第六十六號井、第六十七號井、第六十八號井、第六十九號井、第七十號井、第七十一號井、第七十二號井、第七十三號井、第七十四號井、第七十五號井、第七十六號井、第七十七號井、第七十八號井、第七十九號井、第八十號井、第八十一號井、第八十二號井、第八十三號井、第八十四號井、第八十五號井、第八十六號井、第八十七號井、第八十八號井、第八十九號井、第九十號井、第九十一號井、第九十二號井、第九十三號井、第九十四號井、第九十五號井、第九十六號井、第九十七號井、第九十八號井、第九十九號井、第一百號井、第一百一號井、第一百二號井、第一百三號井、第一百四號井、第一百五號井、第一百六號井、第一百七號井、第一百八號井、第一百九號井、第一百十號井、第一百十一號井、第一百十二號井、第一百十三號井、第一百十四號井、第一百十五號井、第一百十六號井、第一百十七號井、第一百十八號井、第一百十九號井、第一百二十號井、第一百二十一號井、第一百二十二號井、第一百二十三號井、第一百二十四號井、第一百二十五號井、第一百二十六號井、第一百二十七號井、第一百二十八號井、第一百二十九號井、第一百三十號井、第一百三十一號井、第一百三十二號井、第一百三十三號井、第一百三十四號井、第一百三十五號井、第一百三十六號井、第一百三十七號井、第一百三十八號井、第一百三十九號井、第一百四十號井、第一百四十一號井、第一百四十二號井、第一百四十三號井、第一百四十四號井、第一百四十五號井、第一百四十六號井、第一百四十七號井、第一百四十八號井、第一百四十九號井、第一百五十號井、第一百五十一號井、第一百五十二號井、第一百五十三號井、第一百五十四號井、第一百五十五號井、第一百五十六號井、第一百五十七號井、第一百五十八號井、第一百五十九號井、第一百六十號井、第一百六十一號井、第一百六十二號井、第一百六十三號井、第一百六十四號井、第一百六十五號井、第一百六十六號井、第一百六十七號井、第一百六十八號井、第一百六十九號井、第一百七十號井、第一百七十一號井、第一百七十二號井、第一百七十三號井、第一百七十四號井、第一百七十五號井、第一百七十六號井、第一百七十七號井、第一百七十八號井、第一百七十九號井、第一百八十號井、第一百八十一號井、第一百八十二號井、第一百八十三號井、第一百八十四號井、第一百八十五號井、第一百八十六號井、第一百八十七號井、第一百八十八號井、第一百八十九號井、第一百九十號井、第一百九十一號井、第一百九十二號井、第一百九十三號井、第一百九十四號井、第一百九十五號井、第一百九十六號井、第一百九十七號井、第一百九十八號井、第一百九十九號井、第二百號井、第二百一號井、第二百二號井、第二百三號井、第二百四號井、第二百五號井、第二百六號井、第二百七號井、第二百八號井、第二百九號井、第二百十號井、第二百十一號井、第二百十二號井、第二百十三號井、第二百十四號井、第二百十五號井、第二百十六號井、第二百十七號井、第二百十八號井、第二百十九號井、第二百二十號井、第二百二十一號井、第二百二十二號井、第二百二十三號井、第二百二十四號井、第二百二十五號井、第二百二十六號井、第二百二十七號井、第二百二十八號井、第二百二十九號井、第二百三十號井、第二百三十一號井、第二百三十二號井、第二百三十三號井、第二百三十四號井、第二百三十五號井、第二百三十六號井、第二百三十七號井、第二百三十八號井、第二百三十九號井、第二百四十號井、第二百四十一號井、第二百四十二號井、第二百四十三號井、第二百四十四號井、第二百四十五號井、第二百四十六號井、第二百四十七號井、第二百四十八號井、第二百四十九號井、第二百五十號井、第二百五十一號井、第二百五十二號井、第二百五十三號井、第二百五十四號井、第二百五十五號井、第二百五十六號井、第二百五十七號井、第二百五十八號井、第二百五十九號井、第二百六十號井、第二百六十一號井、第二百六十二號井、第二百六十三號井、第二百六十四號井、第二百六十五號井、第二百六十六號井、第二百六十七號井、第二百六十八號井、第二百六十九號井、第二百七十號井、第二百七十一號井、第二百七十二號井、第二百七十三號井、第二百七十四號井、第二百七十五號井、第二百七十六號井、第二百七十七號井、第二百七十八號井、第二百七十九號井、第二百八十號井、第二百八十一號井、第二百八十二號井、第二百八十三號井、第二百八十四號井、第二百八十五號井、第二百八十六號井、第二百八十七號井、第二百八十八號井、第二百八十九號井、第二百九十號井、第二百九十一號井、第二百九十二號井、第二百九十三號井、第二百九十四號井、第二百九十五號井、第二百九十六號井、第二百九十七號井、第二百九十八號井、第二百九十九號井、第三百號井、第三百一號井、第三百二號井、第三百三號井、第三百四號井、第三百五號井、第三百六號井、第三百七號井、第三百八號井、第三百九號井、第三百十號井、第三百十一號井、第三百十二號井、第三百十三號井、第三百十四號井、第三百十五號井、第三百十六號井、第三百十七號井、第三百十八號井、第三百十九號井、第三百二十號井、第三百二十一號井、第三百二十二號井、第三百二十三號井、第三百二十四號井、第三百二十五號井、第三百二十六號井、第三百二十七號井、第三百二十八號井、第三百二十九號井、第三百三十號井、第三百三十一號井、第三百三十二號井、第三百三十三號井、第三百三十四號井、第三百三十五號井、第三百三十六號井、第三百三十七號井、第三百三十八號井、第三百三十九號井、第三百四十號井、第三百四十一號井、第三百四十二號井、第三百四十三號井、第三百四十四號井、第三百四十五號井、第三百四十六號井、第三百四十七號井、第三百四十八號井、第三百四十九號井、第三百五十號井、第三百五十一號井、第三百五十二號井、第三百五十三號井、第三百五十四號井、第三百五十五號井、第三百五十六號井、第三百五十七號井、第三百五十八號井、第三百五十九號井、第三百六十號井、第三百六十一號井、第三百六十二號井、第三百六十三號井、第三百六十四號井、第三百六十五號井、第三百六十六號井、第三百六十七號井、第三百六十八號井、第三百六十九號井、第三百七十號井、第三百七十一號井、第三百七十二號井、第三百七十三號井、第三百七十四號井、第三百七十五號井、第三百七十六號井、第三百七十七號井、第三百七十八號井、第三百七十九號井、第三百八十號井、第三百八十一號井、第三百八十二號井、第三百八十三號井、第三百八十四號井、第三百八十五號井、第三百八十六號井、第三百八十七號井、第三百八十八號井、第三百八十九號井、第三百九十號井、第三百九十一號井、第三百九十二號井、第三百九十三號井、第三百九十四號井、第三百九十五號井、第三百九十六號井、第三百九十七號井、第三百九十八號井、第三百九十九號井、第四百號井、第四百一號井、第四百二號井、第四百三號井、第四百四號井、第四百五號井、第四百六號井、第四百七號井、第四百八號井、第四百九號井、第四百十號井、第四百十一號井、第四百十二號井、第四百十三號井、第四百十四號井、第四百十五號井、第四百十六號井、第四百十七號井、第四百十八號井、第四百十九號井、第四百二十號井、第四百二十一號井、第四百二十二號井、第四百二十三號井、第四百二十四號井、第四百二十五號井、第四百二十六號井、第四百二十七號井、第四百二十八號井、第四百二十九號井、第四百三十號井、第四百三十一號井、第四百三十二號井、第四百三十三號井、第四百三十四號井、第四百三十五號井、第四百三十六號井、第四百三十七號井、第四百三十八號井、第四百三十九號井、第四百四十號井、第四百四十一號井、第四百四十二號井、第四百四十三號井、第四百四十四號井、第四百四十五號井、第四百四十六號井、第四百四十七號井、第四百四十八號井、第四百四十九號井、第四百五十號井、第四百五十一號井、第四百五十二號井、第四百五十三號井、第四百五十四號井、第四百五十五號井、第四百五十六號井、第四百五十七號井、第四百五十八號井、第四百五十九號井、第四百六十號井、第四百六十一號井、第四百六十二號井、第四百六十三號井、第四百六十四號井、第四百六十五號井、第四百六十六號井、第四百六十七號井、第四百六十八號井、第四百六十九號井、第四百七十號井、第四百七十一號井、第四百七十二號井、第四百七十三號井、第四百七十四號井、第四百七十五號井、第四百七十六號井、第四百七十七號井、第四百七十八號井、第四百七十九號井、第四百八十號井、第四百八十一號井、第四百八十二號井、第四百八十三號井、第四百八十四號井、第四百八十五號井、第四百八十六號井、第四百八十七號井、第四百八十八號井、第四百八十九號井、第四百九十號井、第四百九十一號井、第四百九十二號井、第四百九十三號井、第四百九十四號井、第四百九十五號井、第四百九十六號井、第四百九十七號井、第四百九十八號井、第四百九十九號井、第五百號井、第五百一號井、第五百二號井、第五百三號井、第五百四號井、第五百五號井、第五百六號井、第五百七號井、第五百八號井、第五百九號井、第五百十號井、第五百十一號井、第五百十二號井、第五百十三號井、第五百十四號井、第五百十五號井、第五百十六號井、第五百十七號井、第五百十八號井、第五百十九號井、第五百二十號井、第五百二十一號井、第五百二十二號井、第五百二十三號井、第五百二十四號井、第五百二十五號井、第五百二十六號井、第五百二十七號井、第五百二十八號井、第五百二十九號井、第五百三十號井、第五百三十一號井、第五百三十二號井、第五百三十三號井、第五百三十四號井、第五百三十五號井、第五百三十六號井、第五百三十七號井、第五百三十八號井、第五百三十九號井、第五百四十號井、第五百四十一號井、第五百四十二號井、第五百四十三號井、第五百四十四號井、第五百四十五號井、第五百四十六號井、第五百四十七號井、第五百四十八號井、第五百四十九號井、第五百五十號井、第五百五十一號井、第五百五十二號井、第五百五十三號井、第五百五十四號井、第五百五十五號井、第五百五十六號井、第五百五十七號井、第五百五十八號井、第五百五十九號井、第五百六十號井、第五百六十一號井、第五百六十二號井、第五百六十三號井、第五百六十四號井、第五百六十五號井、第五百六十六號井、第五百六十七號井、第五百六十八號井、第五百六十九號井、第五百七十號井、第五百七十一號井、第五百七十二號井、第五百七十三號井、第五百七十四號井、第五百七十五號井、第五百七十六號井、第五百七十七號井、第五百七十八號井、第五百七十九號井、第五百八十號井、第五百八十一號井、第五百八十二號井、第五百八十三號井、第五百八十四號井、第五百八十五號井、第五百八十六號井、第五百八十七號井、第五百八十八號井、第五百八十九號井、第五百九十號井、第五百九十一號井、第五百九十二號井、第五百九十三號井、第五百九十四號井、第五百九十五號井、第五百九十六號井、第五百九十七號井、第五百九十八號井、第五百九十九號井、第六百號井、第六百一號井、第六百二號井、第六百三號井、第六百四號井、第六百五號井、第六百六號井、第六百七號井、第六百八號井、第六百九號井、第六百十號井、第六百十一號井、第六百十二號井、第六百十三號井、第六百十四號井、第六百十五號井、第六百十六號井、第六百十七號井、第六百十八號井、第六百十九號井、第六百二十號井、第六百二十一號井、第六百二十二號井、第六百二十三號井、第六百二十四號井、第六百二十五號井、第六百二十六號井、第六百二十七號井、第六百二十八號井、第六百二十九號井、第六百三十號井、第六百三十一號井、第六百三十二號井、第六百三十三號井、第六百三十四號井、第六百三十五號井、第六百三十六號井、第六百三十七號井、第六百三十八號井、第六百三十九號井、第六百四十號井、第六百四十一號井、第六百四十二號井、第六百四十三號井、第六百四十四號井、第六百四十五號井、第六百四十六號井、第六百四十七號井、第六百四十八號井、第六百四十九號井、第六百五十號井、第六百五十一號井、第六百五十二號井、第六百五十三號井、第六百五十四號井、第六百五十五號井、第六百五十六號井、第六百五十七號井、第六百五十八號井、第六百五十九號井、第六百六十號井、第六百六十一號井、第六百六十二號井、第六百六十三號井、第六百六十四號井、第六百六十五號井、第六百六十六號井、第六百六十七號井、第六百六十八號井、第六百六十九號井、第六百七十號井、第六百七十一號井、第六百七十二號井、第六百七十三號井、第六百七十四號井、第六百七十五號井、第六百七十六號井、第六百七十七號井、第六百七十八號井、第六百七十九號井、第六百八十號井、第六百八十一號井、第六百八十二號井、第六百八十三號井、第六百八十四號井、第六百八十五號井、第六百八十六號井、第六百八十七號井、第六百八十八號井、第六百八十九號井、第六百九十號井、第六百九十一號井、第六百九十二號井、第六百九十三號井、第六百九十四號井、第六百九十五號井、第六百九十六號井、第六百九十七號井、第六百九十八號井、第六百九十九號井、第七百號井、第七百一號井、第七百二號井、第七百三號井、第七百四號井、第七百五號井、第七百六號井、第七百七號井、第七百八號井、第七百九號井、第七百十號井、第七百十一號井、第七百十二號井、第七百十三號井、第七百十四號井、第七百十五號井、第七百十六號井、第七百十七號井、第七百十八號井、第七百十九號井、第七百二十號井、第七百二十一號井、第七百二十二號井、第七百二十三號井、第七百二十四號井、第七百二十五號井、第七百二十六號井、第七百二十七號井、第七百二十八號井、第七百二十九號井、第七百三十號井、第七百三十一號井、第七百三十二號井、第七百三十三號井、第七百三十四號井、第七百三十五號井、第七百三十六號井、第七百三十七號井、第七百三十八號井、第七百三十九號井、第七百四十號井、第七百四十一號井、第七百四十二號井、第七百四十三號井、第七百四十四號井、第七百四十五號井、第七百四十六號井、第七百四十七號井、第七百四十八號井、第七百四十九號井、第七百五十號井、第七百五十一號井、第七百五十二號井、第七百五十三號井、第七百五十四號井、第七百五十五號井、第七百五十六號井、第七百五十七號井、第七百五十八號井、第七百五十九號井、第七百六十號井、第七百六十一號井、第七百六十二號井、第七百六十三號井、第七百六十四號井、第七百六十五號井、第七百六十六號井、第七百六十七號井、第七百六十八號井、第七百六十九號井、第七百七十號井、第七百七十一號井、第七百七十二號井、第七百七十三號井、第七百七十四號井、第七百七十五號井、第七百七十六號井、第七百七十七號井、第七百七十八號井、第七百七十九號井、第七百八十號井、第七百八十一號井、第七百八十二號井、第七百八十三號井、第七百八十四號井、第七百八十五號井、第七百八十六號井、第七百八十七號井、第七百八十八號井、第七百八十九號井、第七百九十號井、第七百九十一號井、第七百九十二號井、第七百九十三號井、第七百九十四號井、第七百九十五號井、第七百九十六號井、第七百九十七號井、第七百九十八號井、第七百九十九號井、第八百號井、第八百一號井、第八百二號井、第八百三號井、第八百四號井、第八百五號井、第八百六號井、第八百七號井、第八百八號井、第八百九號井、第八百十號井、第八百十一號井、第八百十二號井、第八百十三號井、第八百十四號井、第八百十五號井、第八百十六號井、第八百十七號井、第八百十八號井、第八百十九號井、第八百二十號井、第八百二十一號井、第八百二十二號井、第八百二十三號井、第八百二十四號井、第八百二十五號井、第八百二十六號井、第八百二十七號井、第八百二十八號井、第八百二十九號井、第八百三十號井、第八百三十一號井、第八百三十二號井、第八百三十三號井、第八百三十四號井、第八百三十五號井、第八百三十六號井、第八百三十七號井、第八百三十八號井、第八百三十九號井、第八百四十號井、第八百四十一號井、第八百四十二號井、第八百四十三號井、第八百四十四號井、第八百四十五號井、第八百四十六號井、第八百四十七號井、第八百四十八號井、第八百四十九號井、第八百五十號井、第八百五十一號井、第八百五十二號井、第八百五十三號井、第八百五十四號井、第八百五十五號井、第八百五十六號井、第八百五十七號井、第八百五十八號井、第八百五十九號井、第八百六十號井、第八百六十一號井、第八百六十二號井、第八百六十三號井、第八百六十四號井、第八百六十五號井、第八百六十六號井、第八百六十七號井、第八百六十八號井、第八百六十九號井、第八百七十號井、第八百七十一號井、第八百七十二號井、第八百七十三號井、第八百七十四號井、第八百七十五號井、第八百七十六號井、第八百七十七號井、第八百七十八號井、第八百七十九號井、第八百八十號井、第八百八十一號井、第八百八十二號井、第八百八十三號井、第八百八十四號井、第八百八十五號井、第八百八十六號井、第八百八十七號井、第八百八十八號井、第八百八十九號井、第八百九十號井、第八百九十一號井、第八百九十二號井、第八百九十三號井、第八百九十四號井、第八百九十五號井、第八百九十六號井、第八百九十七號井、第八百九十八號井、第八百九十九號井、第九百號井、第九百一號井、第九百二號井、第九百三號井、第九百四號井、第九百五號井、第九百六號井、第九百七號井、第九百八號井、第九百九號井、第九百十號井、第九百十一號井、第九百十二號井、第九百十三號井、第九百十四號井、第九百十五號井、第九百十六號井、第九百十七號井、第九百十八號井、第九百十九號井、第九百二十號井、第九百二十一號井、第九百二十二號井、第九百二十三號井、第九百二十四號井、第九百二十五號井、第九百二十六號井、第九百二十七號井、第九百二十八號井、第九百二十九號井、第九百三十號井、第九百三十一號井、第九百三十二號井、第九百三十三號井、第九百三十四號井、第九百三十五號井、第九百三十六號井、第九百三十七號井、第九百三十八號井、第九百三十九號井、第九百四十號井、第九百四十一號井、第九百四十二號井、第九百四十三號井、第九百四十四號井、第九百四十五號井、第九百四十六號井、第九百四十七號井、第九百四十八號井、第九百四十九號井、第九百五十號井、第九百五十一號井、第九百五十二號井、第九百五十三號井、第九百五十四號井、第九百五十五號井、第九百五十六號井、第九百五十七號井、第九百五十八號井、第九百五十九號井、第九百六十號井、第九百六十一號井、第九百六十二號井、第九百六十三號井、第九百六十四號井、第九百六十五號井、第九百六十六號井、第九百六十七號井、第九百六十八號井、第九百六十九號井、第九百七十號井、第九百七十一號井、第九百七十二號井、第九百七十三號井、第九百七十四號井、第九百七十五號井、第九百七十六號井、第九百七十七號井、第九百七十八號井、第九百七十九號井、第九百八十號井、第九百八十一號井、第九百八十二號井、第九百八十三號井、第九百八十四號井、第九百八十五號井、第九百八十六號井、第九百八十七號井、第九百八十八號井、第九百八十九號井、第九百九十號井、第九百九十一號井、第九百九十二號井、第九百九十三號井、第九百九十四號井、第九百九十五號井、第九百九十六號井、第九百九十七號井、第九百九十八號井、第九百九十九號井、第一千號井、第一千一號井、第一千二號井、第一千三號井、第一千四號井、第一千五號井、第一千六號井、第一千七號井、第一千八號井、第一千九號井、第一千十號井、第一千十一號井、第一千十二號井、第一千十三號井、第一千十四號井、第一千十五號井、第一千十六號井、第一千十七號井、第一千十八號井、第一千十九號井、第一千二十號井、第一千二十一號井、第一千二十二號井、第一千二十三號井、第一千二十四號井、第一千二十五號井、第一千二十六號井、第一千二十七號井、第一千二十八號井、第一千二十九號井、第一千三十號井、第一千三十一號井、第一千三十二號井、第一千三十三號井、第一千三十四號井、第一千三十五號井、第一千三十六號井、第一千三十七號井、第一千三十八號井、第一千三十九號井、第一千四十號井、第一千四十一號井、第一千四十二號井、第一千四十三號井、第一千四十四號井、第一千四十五號井、第一千四十六號井、第一千四十七號井、第一千四十八號井、第一千四十九號井、第一千五十號井、第一千五十一號井、第一千五十二號井、第一千五十三號井、第一千五十四號井、第一千五十五號井、第一千五十六號井、第一千五十七號井、第一千五十八號井、第一千五十九號井、第一千六十號井、第一千六十一號井、第一千六十二號井、第一千六十三號井、第一千六十四號井、第一千六十五號井、第一千六十六號井、第一千六十七號井、第一千六十八號井、第一千六十九號井、第一千七十號井、第一千七十一號井、第一千七十二號井、第一千七十三號井、第一千七十四號井、第一千七十五號井、第一千七十六號井、第一千七十七號井、第一千七十八號井、第一千七十九號井、第一千八十號井、第一千八十一號井、第一千八十二號井、第一千八十三號井、第一千八十四號井、第一千八十五號井、第一千八十六號井、第一千八十七號井、第一千八十八號井、第一千八十九號井、第一千九十號井、第一千九十一號井、第一千九十二號井、第一千九十三號井、第一千九十四號井、第一千九十五號井、第一千九十六號井、第一千九十七號井、第一千九十八號井、第一千九十九號井、第一千百號井、第一千百一號井、第一千百二號井、第一千百三號井、第一千百四號井、第一千百五號井、第一千百六號井、第一千百七號井、第一千百八號井、第一千百九號井、第一千百十號井、第一千百十一號井、第一千百十二號井、第一千百十三號井、第一千百十四號井、第一千百十五號井、第一千百十六號井、第一千百十七號井、第一千百十八號井、第一千百十九號井、第一千百二十號井、第一千百二十一號井、第一千百二十二號井、第一千百二十三號井、第一千百二十四號井、第一千百二十五號井、第一千百二十六號井、第一千百二十七號井、第一千百二十八號井、第一千百二十九號井、第一千百三十號井、第一千百三十一號井、第一千百三十二號井、第一千百三十三號井、第一千百三十四號井、第一千百三十五號井、第一千百三十六號井、第一千百三十七號井、第一千百三十八號井、第一千百三十九號井、第一千百四十號井、第一千百四十一號井、第一千百四十二號井、第一千百四十三號井、第一千百四十四號井、第一千百四十五號井、第一千百四十六號井、第一千百四十七號井、第一千百四十八號井、第一千百四十九號井、第一千百五十號井、第一千百五十一號井、第一千百五十二號井、第一千百五十三號井、第一千百五十四號井、第一千百五十五號井、第一千百五十六號井、第一千百五十七號井、第一千百五十八號井、第一千百五十九號井、第一千百六十號井、第一千百六十一號井、第一千百六十二號井、第一千百六十三號井、第一千百六十四號井、第一千百六十五號井、第一千百六十六號井、第一千百六十七號井、第一千百六十八號井、第一千百六十九號井、第一千百七十號井、第一千百七十一號井、第一千百七十二號井、第一千百七十三號井、第一千百七十四號井、第一千百七十五號井、第一千百七十六號井、第一千百七十七號井、第一千百七十八號井、第一千百七十九號井、第一千百八十號井、第一千百八十一號井、第一千百八十二號井、第一千百八十三號井、第一千百八十四號井、第一千百八十五號井、第一千百八十六號井、第一千百八十七號井、第一千百八十八號井、第一千百八十九號井、第一千百九十號井、第一千百九十一號井、第一千百九十二號井、第一千百九十三號井、第一千百九十四號井、第一千百九十五號井、第一千百九十六號井、第一千百九十七號井、第一千百九十八號井、第一千百九十九號井、第一千二百號井、第一千二百一號井、第一千二百二號井、第一千二百三號井、第一千二百四號井、第一千二百五號井、第一千二百六號井、第一千二百七號井、第一千二百八號井、第一千二百九號井、第一千二百十號井、第一千二百十一號井、第一千二百十二號井、第一千二百十三號井、第一千二百十四號井、第一千二百十五號井、第一千二百十六號井、第一千二百十七號井、第一千二百十八號井、第一千二百十九號井、第一千二百二十號井、第一千二百二十一號井、第一千二百二十二號井、第一千二百二十三號井、第一千二百二十四號井、第一千二百二十五號井、第一千二百二十六號井、第一千二百二十七號井、第一千二百二十八號井、第一千二百二十九號井、第一千二百三十號井、第一千二百三十一號井、第一千二百三十二號井、第一千二百三十三號井、第一千二百三十四號井、第一千二百三十五號井、第一千二百三十六號井、第一千二百三十七號井、第一千二百三十八號井、第一千二百三十九號井、第一千二百四十號井、第一千二百四十一號井、第一千二百四十二號井、第一千二百四十三號井、第一千二百四十四號井、第一千二百四十五號井、第一千二百四十六號井、第一千二百四十七號井、第一千二百四十八號井、第一千二百四十九號井、第一千二百五十號井、第一千二百五十一號井、第一千二百五十二號井、第一千二百五十三號井、第一千二百五十四號井、第一千二百五十五號井、第一千二百五十六號井、第一千二百五十七號井、第一千二百五十八號井、第一千二百五十九號井、第一千二百六十號井、第一千二百六十一號井、第一千二百六十二號井、第一千二百六十三號井、第一千二百六十四號井、第一千二百六十五號井、第一千二百六十六號井、第一千二百六十七號井、第一千二百六十八號井、第一千二百六十九號井、第一千二百七十號井、第一千二百七十一號井、第一千二百七十二號井、第一千二百七十三號井、第一千二百七十四號井、第一千二百七十五號井、第一千二百七十六號井、第一千二百七十七號井、第一千二百七十八號井、第一千二百七十九號井、第一千二百八十號井、第一千二百八十一號井、第一千二百八十二號井、第一千二百八十三號井、第一千二百八十四號井、第一千二百八十五號井、第一千二百八十六號井、第一千二百八十七號井、第一千二百八十八號井、第一千二百八十九號井、第一千二百九十號井、第一千二百九十一號井、第一千二百九十二號井、第一千二百九十三號井、第一千二百九十四號井、第一千二百九十五號井、第一千二百九十六號井、第一千二百九十七號井、第一千二百九十八號井、第一千二百九十九號井、第一千三百號井、第一千三百一號井、第一千三百二號井、第一千三百三號井、第一千三百四號井、第一千三百五號井、第一千三百六號井、第一千三百七號井、第一千三百八號井、第一千三百九號井、第一千三百十號井、第一千三百十一號井、第一千三百十二號井、第一千三百十三號井、第一千三百十四號井、第一千三百十五號井、第一千三百十六號井、第一千三百十七號井、第一千三百十八號井、第一千三百十九號井、第一千三百二十號井、第一千三百二十一號井、第一千三百二十二號井、第一千三百二十三號井、第一千三百二十四號井、第一千三百二十五號井、第一千三百二十六號井、第一千三百二十七號井、第一千三百二十八號井、第一千三百二十九號井、第一千三百三十號井、第一千三百三十一號井、第一千三百三十二號井、第一千三百三十三號井、第一千三百三十四號井、第一千三百三十五號井、第一千三百三十六號井、第一千三百三十七號井、第一千三百三十八號井、第一千三百三十九號井、第一千三百四十號井、第一千三百四十一號井、第一千三百四十二號井、第一千三百四十三號井、第一千三百四十四號井、第一千三百四十五號井、第一千三百四十六號井、第一千三百四十七號井、第一千三百四十八號井、第一千三百四十九號井、第一千三百五十號井、第一千三百五十一號井、第一千三百五十二號井、第一千三百五十三號井、第一千三百五十四號井、第一千三百五十五號井、第一千三百五十六號井、第一千三百五十七號井、第一千三百五十八號井、第一千三百五十九號井、第一千三百六十號井、第一千三百六十一號井、第一千三百六十二號井、第一千三百六十三號井、第一千三百六十四號井、第一千三百六十五號井、第一千三百六十六號井、第一千三百六十七號井、第一千三百六十八號井、第一千三百六十九號井、第一千三百七十號井、第一千三百七十一號井、第一千三百七十二號井、第一千三百七十三號井、第一千三百七十四號井、第一千三百七十五號井、第一千三百七十六號井、第一千三百七十七號井、第一千三百七十八號井、第一千三百七十九號井、第一千三百八十號井、第一千三百八十一號井、第一千三百八十二號井、第一千三百八十三號井、第一千三百八十四號井、第一千三百八十五號井、第一千三百八十六號井、第一千三百八十七號井、第一千三百八十八號井、第一千三百八十九號井、第一千三百九十號井、第一千三百九十一號井、第一千三百九十二號井、第一千三百九十三號井、第一千三百九十四號井、第一千三百九十五號井、第一千三百九十六號井、第一千三百九十七號井、第一千三百九十八號井、第一千三百九十九號井、第一千四百號井、第一千四百一號井、第一千四百二號井、第一千四百三號井、第一千四百四號井、第一千四百五號井、第一千四百六號井、第一千四百七號井、第一千四百八號井、第一千四百九號井、第一千四百十號井、第一千四百十一號井、第一千四百十二號井、第一千四百十三號井、第一千四百十四號井、第一千四百十五號井、第一千四百十六號井、第一千四百十七號井、第一千四百十八號井、第一千四百十九號井、第一千四百二十號井、第一千四百二十一號井、第一千四百二十二號井、第一千四百二十三號井、第一千四百二十四號井、第一千四百二十五號井、第一千四百二十六號井、第一千四百二十七號井、第一千四百二十八號井、第一千四百二十九號井、第一千四百三十號井、第一千四百三十一號井、第一千四百三十二號井、第一千四百三十三號井、第一千四百三十四號井、第一千四百三十五號井、第一千四百三十六號井、第一千四百三十七號井、第一千四百三十八號井、第一千四百三十九號井、第一千四百四十號井、第一千四百四十一號井、第一千四百四十二號井、第一千四百四十三號井、第一千四百四十四號井、第一千四百四十五號井、第一千四百四十六號井、第一千四百四十七號井、第一千四百四十八號井、第一千四百四十九號井、第一千四百五十號井、第一千四百五十一號井、第一千四百五十二號井、第一千四百五十三號井、第一千四百五十四號井、第一千四百五十五號井、第一千四百五十六號井、第一千四百五十七號井、第一千四百五十八號井、第一千四百五十九號井、第一千四百六十號井、第一千四百六十一號井、第一千四百六十二號井、第一千四百六十三號井、第一千四百六十四號井、第一千四百六十五號井、第一千四百六十六號井、第一千四百六十七號井、第一千四百六十八號井、第一千四百六十九號井、第一千四百七十號井、第一千四百七十一號井、第一千四百七十二號井、第一千四百七十三號井、第一千四百七十四號井、第一千四百七十五號井、第一千四百七十六號井、第一千四百七十七號井、第一千四百七十八號井、第一千四百七十九號井、第一千四百八十號井、第一千四百八十一號井、第一千四百八十二號井、第一千四百八十三號井、第一千四百八十四號井、第一千四百八十五號井、第一千四百八十六號井、第一千四百八十七號井、第一千四百八十八號井、第一千四百八十九號井、第一千四百九十號井、第一千四百九十一號井、第一千四百九十二號井、第一千四百九十三號井、第一千四百九十四號井、第一千四百九十五號井、第一千四百九十六號井、第一千四百九十七號井、第一千四百九十八號井、第一千四百九十九號井、第一千五百號井、第一千五百一號井、第一千五百二號井、第一千五百三號井、第一千五百四號井、第一千五百五號井、第一千五百六號井、第一千五百七號井、第一千五百八號井、第一千五百九號井、第一千五百十號井、第一千五百十一號井、第一千五百十二號井、第一千五百十三號井、第一千五百十四號井、第一千五百十五號井、第一千五百十六號井、第一千五百十七號井、第一千五百十八號井、第一千五百十九號井、第一千五百二十號井、第一千五百二十一號井、第一千五百二十二號井、第一千五百二十三號井、第一千五百二十四號井、第一千五百二十五號井、第一千五百二十六號井、第一千五百二十七號井、第一千五百二十八號井、第一千五百二十九號井、第一千五百三十號井、第一千五百三十一號井、第一千五百三十二號井、第一千五百三十三號井、第一千五百三十四號井、第一千五百三十五號井、第一千五百三十六號井、第一千五百三十七號井、第一千五百三十八號井、第一千五百三十九號井、第一千五百四十號井、第一千五百四十一號井、第一千五百四十二號井、第一千五百四十三號井、第一千五百四十四號井、第一千五百四十五號井、第一千五百四十六號井、第一千五百四十七號井、第一千五百四十八號井、第一千五百四十九號井、第一千五百五十號井、第一千五百五十一號井、第一千五百五十二號井、第一千五百五十三號井、第一千五百五十四號井、第一千五百五十五號井、第一千五百五十六號井、第一千五百五十七號井、第一千五百五十八號井、第一千五百五十九號井、第一千五百六十號井、第一千五百六十一號井、第一千五百六十二號井、第一千五百六十三號井、第一千五百六十四號井、第一千五百六十五號井、第一千五百六十六號井、第一千五百六十七號井、第一千五百六十八號井、第一千五百六十九號井、第一千五百七十號井、第一千五百七十一號井、第一千五百七十二號井、第一千五百七十三號井、第一千五百七十四號井、第一千五百七十五號井、第一千五百七十六號井、第一千五百七十七號井、第一千五百七十八號井、第一千五百七十九號井、第一千五百八十號井、第一千五百八十一號井、第一千五百八十二號井、第一千五百八十三號井、第一千五百八十四號井、第一千五百八十五號井、第一千五百八十六號井、第一千五百八十七號井、第一千五百八十八號井、第一千五百八十九號井、第一千五百九十號井、第一千五百九十一號井、第一千五百九十二號井、第一千五百九十三號井、第一千五百九十四號井、第一千五百九十五號井、第一千五百九十六號井、第一千五百九十七號井、第一千五百九十八號井、第一千五百九十九號井、第一千六百號井、第一千六百一號井、第一千六百二號井、第一千六百三號井、第一千六百四號井、第一千六百五號井、第一千六百六號井、第一千六百七號井、第一千六百八號井、第一千六百九號井、第一千六百十號井、第一千六百十一號井、第一千六百十二號井、第一千六百十三號井、第一千六百十四號井、第一千六百十五號井、第一千六百十六號井、第一千六百十七號井、第一千六百十八號井、第一千六百十九號井、第一千六百二十號井、第一千六百二十一號井、第一千六百二十二號井、第一千六百二十三號井、第一千六百二十四號井、第一千六百二十五號井、第一千六百二十六號井、第一千六百二十七號井、第一千六百二十八號井、第一千六百二十九號井、第一千六百三十號井、第一千六百三十一號井、第一千六百三十二號井、第一千

★日・曜・論・壇★

女性談議

モダン・マダムや近代娘に一大鐵槌

高島米峰

婦人の目が叫ばれ、婦人の地位が叫ばれ、婦人の自覚が叫ばれ、婦人の自由が叫ばれ、婦人の自治が叫ばれ、婦人の参政が叫ばれ、婦人の参政が叫ばれ、婦人の自覚が叫ばれ、婦人の自由が叫ばれ、婦人の自治

宜蘭飛行場用地の買收漸く片付く

四名の地主を除ききのふ全部が調印

【宜蘭電話】宜蘭飛行場の用地買收は既報の通り一部大農地主の感情に依り交渉を來し街役場員及び手でほどうにも仕方がつかなかつたので一日午前十時宜蘭郡の地主六十二名の召集を行つた、即ち郡部關係地主は敷地に分割關係の爲め内容を説明し調印を求めたが、一部地主は意を決しても調印を躊躇せしめた、末調印の地主六名の内四名は本日不在の爲め調印を了する見込みである、これで殘るは僅に一甲歩一畝歩で殘りなく買收終了後、飛行場の我が飛行機の用地買收も無事かたづいたわけで、今後は可及的に土地收用令發動の手續を取つて買收を急ぐ計畫である

建國祭の朝

國威宣揚を祈願

花蓮港街の行事

【花蓮港電話】本年の建國祭に當り花蓮港街役場では午前八時から花蓮港神社に參拜、十時から同社前廣場に於て國旗掲揚式を擧行、終つて市内の建國行進を爲す筈で午前十時廿分には壁東から鳳林、玉里、瑞穗、富里、鹿野、關山、池上、卑南、成功、大武、太麻里、東河、新港、長濱、寶桑、吉野、豐田、林田、鳳林役場員、林田、鳳林郡役所、佐藤兄玉、陳金波、石進誠、黃榮樑氏等他數名は先つ郡役所に集合せしめ、さらに陳金波、石進誠、黃榮樑氏等より地主各位の調印の必要なことを説明、調印を求めたが、一部地主は意を決しても調印を躊躇せしめた、末調印の地主六名の内四名は本日不在の爲め調印を了する見込みである、これで殘るは僅に一甲歩一畝歩で殘りなく買收終了後、飛行場の我が飛行機の用地買收も無事かたづいたわけで、今後は可及的に土地收用令發動の手續を取つて買收を急ぐ計畫である

紛糾

を傳へられてゐた宜蘭飛行場の用地買收も無事かたづいたわけで、今後は可及的に土地收用令發動の手續を取つて買收を急ぐ計畫である

新竹に軍隊駐屯

勿論考慮してゐる

軍司令官陳情委員に回答

【新竹電話】初巡視の鵜川軍司令官は一日午後一時二十七分新竹驛着上り列車で來新、プラットホームに及び驛前通りには郡守、學校生徒外諸團體代表列出迎へた、軍司令官は直に州廳に增田知事を訪問、主要官民を接見後新竹神社に參拜、次で經濟懇談會を開き自動車を駆つて增田知事の案内で本島唯一の竹林である南部郊外の新竹牧場に赴き、放牧中の牝馬四十一頭を見三時二十分新竹に引き返し、公會堂に州下官民五十二名を招き茶話會を催した、茶話會散會後同所にて休憩中の軍司令官に對し青木知事、上野幸作、鄭神爵、清水敬次郎、桑原佐一郎の五氏は新竹州下に軍隊駐屯地の希望を陳情した所司令官は御希望の點は全部に於ても勿論考慮してゐるが、尚直に希望に副ふべく他の分隊を持つて來ること

建國祭の朝

國威宣揚を祈願

花蓮港街の行事

【花蓮港電話】本年の建國祭に當り花蓮港街役場では午前八時から花蓮港神社に參拜、十時から同社前廣場に於て國旗掲揚式を擧行、終つて市内の建國行進を爲す筈で午前十時廿分には壁東から鳳林、玉里、瑞穗、富里、鹿野、關山、池上、卑南、成功、大武、太麻里、東河、新港、長濱、寶桑、吉野、豐田、林田、鳳林役場員、林田、鳳林郡役所、佐藤兄玉、陳金波、石進誠、黃榮樑氏等他數名は先つ郡役所に集合せしめ、さらに陳金波、石進誠、黃榮樑氏等より地主各位の調印の必要なことを説明、調印を求めたが、一部地主は意を決しても調印を躊躇せしめた、末調印の地主六名の内四名は本日不在の爲め調印を了する見込みである、これで殘るは僅に一甲歩一畝歩で殘りなく買收終了後、飛行場の我が飛行機の用地買收も無事かたづいたわけで、今後は可及的に土地收用令發動の手續を取つて買收を急ぐ計畫である

紛糾

を傳へられてゐた宜蘭飛行場の用地買收も無事かたづいたわけで、今後は可及的に土地收用令發動の手續を取つて買收を急ぐ計畫である

區長任命に絡み

基隆市民は不滿

區内の紛糾は轉じ市當局攻撃となる

【基隆電話】昨年十一月新たに任命された區長の位置をめぐつて基隆市ではかねてより種々のゴタゴタを起してゐたが、最近各方面で種々に激化し、町の話題を賑はしてゐる、即ち區長任命が十度選擧職員並に區會議員の人物相當受けられる點、區の地理的分類が市民の意に副はなかつた點等々を擧げれば殆んど際限りなく

不平

があり、市議會の最中なり或は其他については既にあらゆる機會で市當局への冤憤が發せられてゐるが、その中でも最も問題となつてゐるのは區の地理的分類に對する不平で、天神町、町の如きは相當密集した紛糾さへ起こしてゐる、天神町は行政區劃からすれば基隆市役所を中心とする所謂天神町と新興地たる世界館裏の俗に奥山町と稱する住宅地帶を含めてはゐるが兩者は從來から自尊する獨立地帶を構成

不滿

し市役所を中心とするところは天神町會、奥山町は奥山町會と別々の町會さへつくつてゐる有様であるにも拘らず、昨年任命の區長は所謂天神町側の林區長氏となつたので奥山町側はこれに對して不滿を持たず、區長による町會事務は奥山町に及ばぬ狀態となり、日を經るに從ひ次第に兩者間の軋轢を助長するに至つた又新町は奥山町と合併して基隆町となつた際町會が幸町と合併して基隆町會となる前國の町會を組織してゐたところに區は基隆一區として基隆町會を含め區長事務取扱ひに本田某氏を任じたので從來からの基隆町會側の人々が不滿をもらし、區長と區長事務取扱ひに對しては何事にかと手をひく有様となつてこれに相當人物を配する爲め加つつかなりに紛糾化した紛糾を續けてゐるのである、更に眼を轉ずれば中三區たる日新町四、五、六丁目の區長明比賀年町四、五、六丁目の區長事務取扱ひに對しても最近新たな町會組織で天降り式町會長候補者をめぐつて反撃の聲が擧げられつつあり、其他各區夫々に區民又は區長より擧げられる不平不滿の聲をきく、これは從來するに最初市當局で區長を任命するにあたり何等既存町會及び住民の意見をきく事なく勝手に區を分けた事が原因してゐるものなりとして言ふ、其の後も唯事務の都合とばかり言つて來る處從に不可解で、かくては區割なる市政助長の根源を果し得ずといづれも攻撃の的を市當局に向け、區内の紛糾は殿して市政擧げて之が解決に努力すべきである有様である

臺灣と福州間に

邦文電報の通信か

遞信部で實現を期す

【花蓮港電話】臺東線各驛にかける輸送貨物は年年增加し特に農産物に於ては鐵道の不足を告げ輸送の圓滑を期し難いので花蓮港線道出張所では臺北に貨車の增發を交渉すべく交通局に對し總督の裁決を求めてゐるが鐵道當局としては當分實施に困難で實現を得、是非共實施したいと云つてゐる

十五輛增車

臺東線の新計畫

一年度に於て左記十五輛の增車を爲すと共に之に伴ふ機關車一輛を增發すべく交通局に對し總督の裁決を求めてゐるが鐵道當局としては當分實施に困難で實現を得、是非共實施したいと云つてゐる

建國祭に鄕軍の武道大會

基隆で開催

【基隆電話】基隆では來る十一日の建國祭に際し街の外に更に海軍基隆市聯合分會の手により恒例による武道大會を盛大に開催する

建國祭を機に

惡風を打破

花蓮港廳教育課で計畫

【花蓮港電話】花蓮港廳教育係では來る十一日の建國祭當日を出來るだけ意義ある様にと既に決してゐたがその實現の爲め廳下の各部落の敎育の手ではどうにも仕方がつかなかつたので一日午前十時廳内の職員會議室に於て廳長を始め廳員一同出席の上協議の結果、先づ第一に部落の敎育上最も惡風と認められてゐる賭博を絶滅する爲め賭金として百圓未滿　最高二百圓を超えざる範圍の罰金に處する事、次に部落の敎育上最も惡風と認められてゐる婚姻式は必ず神前で行ふ事、葬儀や祭禮の際は一寸毛色の變つた所であるが、ふるつてゐるのは檳榔の實を噛まない事にしませうと云ふのがある

開催場所は基隆劇場で午前九時より開會午前中は劍道及び銃劍術午後は柔道の順である

農業目的の移住者が

急速に增加してゐる臺東

廳でもこの傾向を重視し

實狀を詳細

中學生が空巢狙ひ

東京でも二度も竊盜を働く

みんな酒色に費消

【基隆電話】基隆春季競馬二日目は一日午前十時より大塊厝競馬場で開催したが第九回迄の成績左の如し

第一回　駈歩一、四〇〇米一、千才以下一分57秒5分の42、抜桑3、松風單四圓複一、一圓

第二回　速歩三、〇〇〇米一、サウスキング（安倍氏）一分9秒3、ハクザン單八四八十錢複一、二圓二、四四十錢3、七十錢

第三回　駈歩一、四〇〇米一、ツバキ（安倍國）一分58秒2、早駒3、イーグル單六四八十錢複一、二圓九十錢2、一圓三十錢3、三圓三十錢

第四回　駈歩一、六〇〇米オウマ（藤田　2カ）一分4秒2、2コマウヒメ單二圓十錢複一、一圓五十錢2、一圓五十錢

第五回　駈歩一、六〇〇米一、シダル（久保）一分4秒2、タマヲ單一圓四十錢複一、一圓二十錢2、一圓四十錢

第六回　駈歩一、六〇〇米第三高砂（久保國）2分1秒2、南桑3

アルデス單一圓十錢複一、一圓五十錢2、一圓3、二圓九十錢

第七回　速歩三、〇〇〇米松風（島井）6分9秒2、イデン3、ササモ單二圓二十錢複一、一圓九十錢2、七十錢3、二圓九十錢

第八回　駈歩一、六〇〇米ダガト（越一分59秒2、桑3、ミドリ單三圓七十錢複一、二圓四十錢2、一圓四十錢3、六十錢

第九回　駈歩一、六〇〇米一、ホース（越）2分4秒2、アルバートあつた

舊習打破の烽火

黃中壢街助役の令嬢が

聘金なしで結婚

【中壢電話】國立公園の指定的候補者田村博士は來る廿日午後三時より中壢公會堂に於て「臺灣の自然と人生」と題し講演する筈

田村博士、臺中で講演

惡い卦ばかり出し

愚民どもを誑かす

運を開いてやると稱して

自稱魔法使ひ捕縛

一派出所の調べで、李雨巡査の手で檢擧され、一日午後警察官に身柄を押送して來た、右は本籍地官蘭郡頭圍庄所不定陳皮（三）と云ひ昨年三月頃から瑞芳庄金瓜石、九分方面に入りこみわざと惡い卦ばかり出して、さてそれから運を開かせてやると多額の金を詐取してゐたもので、彼は運の惡いのは化物がお前についてゐるからで自分の家で御祕法をそなへ魔の魔法で化物を退散させるから御祕法代を出すべしと云ひはつてゐた、又子供のない婦人には黃色な紙に出產月次を書いて祈禱をやり、これから何日目かに子供が出來るとまことしやかに教へてこれまた五十圓、六十圓と云ふ祈禱料をとつてゐた、何分無智な人々が多い關係から被害者は意外の多數に上り詐取せる金額も莫大な數字に上る見込で今の所調査が一寸進べただけでも三十數件の被害者があつた

牛肉加工場が

新港に出來

高山蕃からの

移住狀況

藤村廳長視察

【中壢電話】中壢郡下に於ける第一の產業たる酪農振興に關し廳當局に於ても從來より種々考慮中であつたが此の程本十圓を投じ郡農會内に酪農實習所を設置し、目下專門の技師を聘して實習生を募集中であつたが、今回更に新港に於て牛肉加工の企業化に就てにはかに調査の爲め藤村廳長は十一日午後七時より市公會堂に於て開催する

農乳組合創立

【新竹電話】竹東郡下に於ける酪農振興の爲め從來より計畫中であつた竹東農乳組合は一日午後七時より市公會堂に於て開催、發起人總代として藤村廳長の挨拶あり、次で組合規約の審議に入り、組合名稱は竹東農乳組合と決定、組合事務所は竹東街に置くこと、組合員は竹東郡内に於ける酪農家を以て組織すること、組合員の出資口數は一口以上とし一口の金額は五圓とすること、組合員の責任は有限責任とすること、組合員の加入脫退に關する事項、組合員の除名に關する事項、組合員の義務に關する事項、組合員の權利に關する事項、組合の解散に關する事項、組合の公告の方法に關する事項、組合の役員に關する事項、組合の會計に關する事項、組合の業務に關する事項、組合の財產に關する事項、組合の經費に關する事項、組合の收支に關する事項、組合の決算に關する事項、組合の剩餘金の處分に關する事項、組合の解散に關する事項、組合の清算

街に散る花 (46)

竹田敏彦作　寺本忠雄畫

ロボット夫妻（七）

いつの間に寢て、いつの間に起きたのか、ほの暗い搖籃の燈火を浴びて、ベビヤのきず翅座した晉吉の姿は、半襟の美令里の眼に、人形のやうに淋氣味が思かつた。

「何うなさいました……」

「少し相談がある、ちよつと起きてくれ。」

時計が一時をうつた。

「もう遅いぢやありませんの。」

「話をしておかないと、僕は眠れない。」

「何んな御用でせう。」

「あちら（來てもらひたい。」

「……」

子供が一人になつてから、晉吉の厭過だけは、別に機嫌きの六疊になつてゐた。

「俺の部屋へ來られないのか。」

「そんなこと……」

美令里は臆をあげて晉吉を見上げた。

「それはお樂しみでございます」

「美令里！」

晉吉の聲がさつと變つた。

「お前、俺が他の女と遊んでも、嫉妬が立たないのか。」

美令里の手首を、いやといふほど握むと、力まかせに膝の上へ引寄せたが、

「これほど……これほど愛してゐる俺を忘れて、また他の男を……畜生！　憎い、憎い女だ。」

呪ひつづけながら、狂暴な獣物を、美令里の唇へ食ひ入るやうに押らせつけた。美令里の胃臓は氷のやうに感かつた。

美令里は、晉吉の性的な絶死に、いつの間に寢て、いつの間に起きたのか、ほの暗い搖籃の燈火を浴びて、ベビヤのきず翅座した晉吉の姿は、半襟の美令里の眼に、人形のやうに淋氣味が思かつた。

「何うなさいました……」

「少し相談がある、ちよつと起きてくれ。」

時計が一時をうつた。

「もう遅いぢやありませんの。」

「話をしておかないと、僕は眠れない。」

「何んな御用でせう。」

「あちら（來てもらひたい。」

「……」

子供が一人になつてから、晉吉の厭過だけは、別に機嫌きの六疊になつてゐた。

「俺の部屋へ來られないのか。」

「そんなこと……」

美令里は臆をあげて晉吉を見上げた。

「それはお樂しみでございます」

「美令里！」

晉吉の聲がさつと變つた。

「お前、俺が他の女と遊んでも、嫉妬が立たないのか。」

美令里の手首を、いやといふほど握むと、力まかせに膝の上へ引寄せたが、

「これほど……これほど愛してゐる俺を忘れて、また他の男を……畜生！　憎い、憎い女だ。」

呪ひつづけながら、狂暴な獣物を、美令里の唇へ食ひ入るやうに押らせつけた。美令里の胃臓は氷のやうに感かつた。

「ぢやなさいましよ……」

晉吉は、子供の寢息をうかがつて、伊達巻を締め直すと、その上へ羽織を重ねた。晉吉に從つた。

「さ、へ寢れ。」

晉吉は美令里を枕もとに坐らせ、自分も膝下の上へ胡坐をかいた。

「ぢうさまで俺は寢ないで決心を變つてみたが、どうしても駄目だつた。」

「……」

「子供と別れることに耐へられてもお前と離れては暮らせさうもない。」

「……」

黙んだ晉吉とともに、無氣味な眼で、ぢうぢう美令里を見た。

「俺の一生の願ひだ。今夜限り林田のことを、綺麗に忘れないか。」

「いや、お前が何と言つても、俺にはそれがはつきりとわかるのだ。今日たつてお前は、黙んだことのない夢の國まで踊つてゐるだらやないか。」

「……」

子供と別れることに耐へられてもお前と離れては暮らせさうもない。」

「……」

黙んだ晉吉とともに、無氣味な眼で、ぢうぢう美令里を見た。

「俺の一生の願ひだ。今夜限り林田のことを、綺麗に忘れないか。」

「いや、お前が何と言つても、俺にはそれがはつきりとわかるのだ。今日たつてお前は、黙んだことのない夢の國まで踊つてゐるだらやないか。」

「さうさまで俺は寢ないで決心を變つてみたが、どうしても駄目だつた

紀元二千六百年を「記念する大事業」

祝典準備委員會で實現に努力する申合はせ

【東京一日發】紀元二千六百年祝典準備委員會の特別委員會は一日午後一時半より首相官邸に於て開會、記念事業に關し慎重審議の上左の如き決定を爲し、右實現に努力することを申合せ午後三時散會

一、新日本學の建設
二、日本文化圖書館大會の開催
三、日本文化圖書館の新設
四、日本文化百科大辭典の編纂
五、日本文化史の編纂
六、日本文化大觀の編纂
七、日本文化大觀の新設
八、國史記念館の新設
九、圖書館の建設
十、日本文化會館の設立
十一、文化使節の設置
十二、文化映畫の製作
十三、郷土見本市の開設
十四、日本文化院の創設
十五、文化國際協會の提唱

以上の事業をなすがためには先づ官民合同恒久的組織の結成を促し、右團體をして本年度より逐次之を左の事業に着手せしめる必要ありと認む

一、一大國民的自彊運動の展開
二、日本文化大觀の編纂
三、日本文化圖書館大會開催準備
四、日本文化圖書館大會開催準備

陳述を終へて　證據調べに入る

【東京一日發】相澤事件公判は午後一時半より自相官邸に於て開廷、證據調べを終了後引續き論告辯論に入る筈なりしも辯護人側の申出により辯論は次回に延期し午後三時半閉廷、次回は二日午前九時より開廷することとなつた

【東京一日發】相澤中佐の公判は午後一時四分再開、佐藤裁判長は證據調べを終了後引續き辯論に入る筈なりしも辯護人側の申出により辯論は次回に延期し午後三時半閉廷、次回は二日午前九時より開廷することとなつた

相澤　全部終りました

法務官　昨年七月十八日國本社の重大決意に就て被告の書いたものが此處にあるが之れに就て何か述べる氣はないか充分に被告をして言はしめんがために特に云ふのである

相澤　有難うございます

と言つて當時自ら決意を　認めた手記を取上げ低い聲で讀み上げる彼が第一回公判から終始一貫して主張し來つた國體思想と國家の危機を說いたものである

法務官　これに就て少將が現れるのは大御心に添ふ所以であるといふのが手記の中にあるがこれは永田少將のことか

相澤　さうであります

法務官　獨斷專行とは自分一人でやる意味か

相澤　さうであります

法務官　それでは外に何も言ふことはないか

相澤　ありません

と答へ午後二時五十二分閉廷次回は二月四日開廷の豫定

福州と汕頭に　驅逐艦

【馬公一日發】三十一日午後五時第四驅逐隊第羽風、夫月風は福州に秋風、帆風は汕頭に向け出港した

南支と比島の實情報告講演會

本社の兩特派員出演

南支を基地とする南支南洋への經濟發展は、先づ其方面の實情を究めてかからねばならぬ、此見地より本社では先に比島、蘭領印度、佛印、海南島、香港、廣東、汕頭、厦門、福州、上海、青島、天津、北京、滿洲國の各地に特派員を派遣し、各地の實情を調査せしめたが、兩特派員共に歸社したので、取敢ず兩地に於ける調査報告の講演會を開くことゝした、一般の來聽を望む

日時　三日、月）午後七時より
場所　臺日講堂
演題　南支の實情を觀る
　　比島獨立の將來とダバオ問題
講師　笹盛特派員
　　上田特派員

文部省は必死で　出品の狩り集め

第一日新帝展廿五日蓋明け

なつて居り關係會のスケジュールも既に十月から十三日迄搬入受付け十五日觀覽開始、二十四日行幸、二十五日開會式、二十六日から一般公開と決定してゐるが、實は會の主流が帝國不開催に傾いてゐるだけにこれを抑切らんとする文部當局の出品特集めの努力は一通りでなく數多不利な條件の下に開かれる第一回展に文部當局が何處迄大作を集め得るかは各方面の注目を惹いてゐる

省政府より離脫し　『察哈爾盟』を組織

盟長に卓世海氏任命

【北平一日發】國民政府と德王との關係は一層惡化し察哈爾、綏遠を中心とする親日滿派は之れがため擁つて急速に進展すべく豫想されつゝある

【新京一日發】關東軍と密接な關係にある察哈爾省政府の內蒙工作は最近著しく活潑化し、察哈爾、綏遠兩省を中心とする內蒙自治運動は愈々具體化し來つたが、今回察哈爾省政府は國民政府と德王との關係を一層惡化せしめ、察哈爾、綏遠兩省を中心とする親日滿派の勢力を增大せしめ、以て內蒙自治運動を促進せしめる目的を以て、察哈爾盟を新たに設置するとともに從來の察哈爾省政府を改組して察哈爾盟公署とし、德王の率ゐる蒙政會は卓北海氏と共に張北に駐屯公署を設置せしめた、右は國民政府が最近察哈爾省內自治委員會の目的が蒙政會の獨立と德王を中心とする內蒙自治運動の促進にあることが明瞭となつたので蒙政會が斷然たる態度に出でたものである、かくて德王は察哈爾盟公署と蒙政會の兩方面に關係することゝなつたが、察哈爾盟公署は德王の勢力を察哈爾省內に扶植せんとするものであり、蒙政會は德王の勢力を內蒙全體に擴大せんとするものであるから、兩者の間には自ら對立關係を生ずるものと觀られてゐる

ソ聯側の煽動で　滿國監視隊に兵變

衝突事件に付　關東軍が發表

【新京一日發】滿洲國境山口嶺監視營隊の一部は兵變を起し逃走せるとの報に接したが、發てより滿の隣手が滿洲軍中に伸びつゝあるを察知しありしをもつて機を失せず國境監視隊は第一線に於ける兵の武裝を解除し、之が包圍攻撃に努めつゝあり、一方日本軍の一部も出動し目下滿洲國軍討伐隊は二十一日發現場附近にて合流し兵士はソ滿內五百米に迫せるをもつて日滿軍は追擊を中止し國境を監視しつゝあり、滿洲軍中村中尉はこの戰鬪で重傷生命危篤、尚この戰鬪に於て兵士の過半數を死傷せりと、またソ聯軍用飛行機數臺が國境上空を飛行し來つたので同軍は不法にも國境を侵犯したと滿洲國側の監視に依ること明瞭となれり、兵變を起せる滿洲軍中にありし我が國兵中隊長脇坂治及び滿洲軍顧問一名、木本國兵中尉は殺されたり

十八線の鐵道　不通となる

記錄的な混亂振り

【東京一日發】二十一日に後降り上越十線は積雪數尺に達し、第一回の雪崩で線路は全く埋沒し、上越線水上、石打間は不通となつた、北日本一帶は目下猛吹雪のため國鐵上越線を始め內地で十二線北海道で五線計十八線不通となつた、北日本の混亂振りである

多彩の船客を乘せ　高千穗丸が入港

矢吹大藏次官その他

【基隆電話】商船高千穗丸は大藏省政務次官矢吹省三、同參務官田中豐、外務省長坂本龍起、日本鐵業部務部長石田義雄、東洋製鐵社長小野田一、同參務岡島李雄、合同電氣常務鈴鹿恩雄、新任總督府參事官矢一、臺銀理事兒玉謙次、大倉土木專務武帶相模鐵道會社の森岡世界漫遊中の還北等大田中長二郎博士を始めて來た英國領印度ボンベイ、マレー、ロス間土産物の商民の外、船客三百八十一名貨物千九百七十四噸を積載一月十一日後零時二十分基隆に入港した

矢吹政務次官談（私よりも官

來たことがなかつたので總督府を見て視察にやつて來た、砂糖、水力電氣、石油等開發其他產業に就ては今其の要否の程度迄調査中である、臺灣の農業は內地米の增收よりも寧ろ特定の用途ない日産は十二月間である關係上米の增殖を必要とするが、米の增殖計畫に就ては目下總督府に於て考へてゐる、水力電氣は內地に於ても多數計畫があるが、實行に移したものは少ない、臺灣は地形上水力電氣の開發に適してゐる、石油は內地に於ても試掘を行つてゐるが、臺灣は地質上油田發見の可能性が多い、臺灣の產業開發は內地人の資本と技術とを以てすれば十分發展の餘地がある、臺灣の人口增加率は內地よりも多く、內地人の移住は歡迎する、臺灣の交通は內地に比べて不便であるが、今後改善する、臺灣の觀光地としては日月潭、太魯閣、阿里山、大屯山、北投、鵝鑾鼻等がある、臺灣の教育は內地人と本島人とは別學制であるが、內地人の教育は內地と同樣である、臺灣の產業開發は內地人の資本と技術とを以てすれば十分發展の餘地がある、臺灣の人口增加率は內地よりも多く、內地人の移住は歡迎する、臺灣の交通は內地に比べて不便であるが、今後改善する、臺灣の觀光地としては日月潭、太魯閣、阿里山、大屯山、北投、鵝鑾鼻等がある、臺灣の教育は內地人と本島人とは別學制であるが、內地人の教育は內地と同樣である

往々に　して　適當な人格者の耳に　思はれてゐます、その例としては根本大佐の如きです　彼がどんな人物であるかは私は申しません、彼は國策省でも信頼と尊敬とを集めてゐます

と陸軍人事を攻擊し更に一段と聲をはり上げ

私の供述も終りに近づいて參りました國體も皆樣もよく聞いて下さい、私の考へ方は或は間違つてゐるかも知れませんが絕對信念であります、その點だけは御信じ下さい、私のやつたことは軍の統帥と陛下の御親政のために過ぎません

邪魔に　なつたでせう、眞に相濟まぬことです

と述べて聲を呑み

いやそれ所ではありません、陛下の御親政をなやまし奉つたことは何とも相濟まぬことで、それを思ふと唯だ泣くより外ありません

皇紀二千六百年記念事業

【東京一日發】紀元二千六百年祝典準備委員會は一日午後一時半より自相官邸に於て開會、記念事業に關し愼重審議の上左の如き決定を爲し、右實現に努力することを申合せ午後三時散會

一、新日本學の建設
二、日本文化圖書館大會の開催
三、日本文化圖書館の新設
四、日本文化百科大辭典の編纂
五、日本文化史の編纂
六、日本文化大觀の編纂
七、日本文化大觀の新設
八、國史記念館の新設
九、圖書館の建設
十、日本文化會館の設立
十一、文化使節の設置
十二、文化映畫の製作
十三、郷土見本市の開設
十四、日本文化院の創設
十五、文化國際協會の提唱

以上の事業をなすがためには先づ官民合同恒久的組織の結成を促し、右團體をして本年度より逐次之を左の事業に着手せしめる必要ありと認む

一、一大國民的自彊運動の展開
二、日本文化大觀の編纂
三、日本文化圖書館大會開催準備
四、日本文化圖書館大會開催準備

厦門から廣東へ　壯快な空の旅

料金は安くない

飛行機から觀光客に變つた、記者の當面は右方の最後部、即ち最後尾、その前方に廣東局の三浦君、最前部の左側が服部書記その前方が海口君、記者の席のショートは空もない、一行五人の空の旅、ただ滿洲紳士來人セルニス・セラー氏に記者の席の當面へ記者のトラクを持つて來て貰つた、メランスを取るためだ、すでに乘客となる覺悟、窓ニハンデン二名は通路を起してゐる伍長警察官のスマートな水上服に飛行服をあげて居る、山田書記は記念の爲めに寫眞を撮つてゐる、

見送つて呉れる者はもう居ない、ぶつくさ海水が窓を叩いたかと思ふと最早機はフワリと空へ浮いてゐた　北風に向つて滑走する機は見る〳〵速に高度を高めて左へ旋回、機首を南に向けて快翔してゐる、半時とうねつて複雜模樣る海岸線に沿うて飛行をつづける風は溫良だ、

時速二百粁に機に出てゐるが風の動搖は少しもない、窓の外遠の飛行だ、零時五十分廣東の東山は綠色を呈し草木に覆はれてゐる、牛頭山、魚花山などを過ぎると、廣千尺の山頂が小さい盆地となるとこに田畑をつくつてゐるのが見える、セラー機長は機を旋回させて地圖を見てゐる、右を見ても左を見ても山また山、廣東と廣西の境界線は高千尺の山脈である、

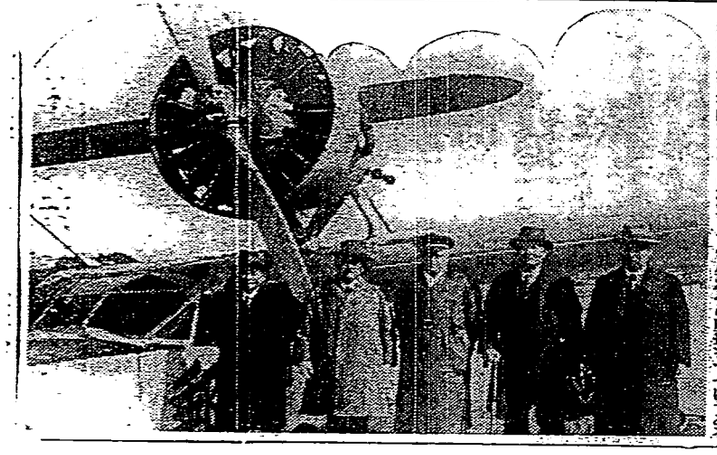
C（突進する）

×

十五分間位經つた頃、機は汕頭市街を左に北方に向けて離水右へ旋回旋回を續けると、機上から見た汕頭は綿屑に見えるが小さい街だ、右方は岩石あらはなる山又山に　雪時にして褐色の山脈上を飛ぶ、山脈飛行だ、間下は稻代農隊の點點たる風景、此の邊一帶の山には草木を認めない、頂上とも黒褐の流れるはいづれも草木の認めない、青葱山の一帶と思ふ、一ヶ所に於て半圓なる湖水あり、一面に廣大なる平野が開けてゐる、

×

機の動搖は少しもない、窓の外遠の飛行だ、零時五十分廣東の東山は綠色を呈し草木に覆はれてゐる、牛頭山、魚花山などを過ぎると、廣千尺の山頂が小さい盆地となるとこに田畑をつくつてゐるのが見える、セラー機長は機を旋回させて地圖を見てゐる、右を見ても左を見ても山また山、廣東と廣西の境界線は高千尺の山脈である、



榮進も昇給も　金次第の醜狀

視察・收容實に

わが練習艦隊　米國を訪問

五月橫須賀を出港

りである

軍令部出仕海軍中將　吉田善吾
練習艦隊參謀長　同令官
橫須賀鎭守府參謀長
橫須賀鎭守府附
機關大佐
橫須賀鎭守府附
橫須賀鎭守府附
海軍主計大佐
海軍機關學校

運命大講演會

講師　聖象子　外數名
二月二日夜六時半より入場無料
場所　臺北　鐵道ホテル　餘興場

【特別廣告】
貴金屬　製作販賣
美工堂
（第四四二四番）

今日の天氣
（昨日の最低氣溫五度八分、午前八時）
（最低氣溫四度）

衆議院議員候補者
木下信氏後援會
今回木下信氏鄕里長野縣より立候補致しました就ては何分の御後援を願ます
後援會事務所
臺北市綱町五ノ七
唐澤信夫
電話三六四七番

ためになる
運命大講演會
講師　聖象子　外數名
二月二日夜六時半より入場無料
場所　臺北　鐵道ホテル　餘興場
大都超特作
三大名畫
（二十錢）
救ひ　かれる　處女
風流千石やくざ
◆第二世界館◆

松田文相急逝

去二日起心臟麻痺

東京二日發電通至急電）分。於青山穩田私邸。因氏。一日午後二時二十二分。

川崎卓吉氏 確定後任文相

東京一日電。松田文相一日朝三日間。札幌。室急逝。政府即於官邸。開臨時閣議。經衆後任文相。似係現民政黨幹事長川崎卓吉氏。又據長崎支局經由至急電報。閣議決定川崎卓吉氏為後任文相經有來電。

更易衣服 急心臟痲痺

東京二日電。松田文相二日十時頃。因其親戚不幸。前往弔問。歸途至帝大青山稽出自宅。大感謂為暑。換服裝。途中氣分不佳。即重態急變。逝去。享年六十二。

陛下今秋 行幸北海道 御統裁大演習

東京二日電。（今秋十月。北海道旭川由天皇陛下御統裁。舉行陸軍特別大演習。其御日程。頃來宮內省陸軍省間。慎重協議。十月

日滿軍蘇聯軍衝突 聯合軍出動 關東軍發表

新京一日電。關東軍發表及猶髮防止上。有重大效果。而四報來。不得包含之事。

去二十九日滿洲國衛山國境監視隊一部。起兵變逃走。自前即料武器魔手。至滿洲軍中。國境監視隊。即於第一線。置必要之兵。包圍隨後。二方日本軍一部亦出動。日滿聯合討伐隊。於二十一號境界附近應戰。兵士逃入蘇聯內五百米。日滿軍追擊中止。監視國境。滿洲軍中村中尉。於此戰鬪。重傷生命危篤。又於此戰鬪民出所遺棄死體中。有蘇聯正規兵。又遺棄蘇聯軍刀防毒面。知係蘇聯側所煽動。起兵襲之滿洲軍中我砲兵中尉渡邊治及滿州軍楠藤上等。木本砲兵中尉被殺害。

建艦通告案 採擇要項

倫敦二十一日電。建艦通報相互交換案。三十一日一、建國祭式典。二月十一日午前十時二十分。假公會堂下為式場。基隆市去三十一日。午後一時。假市衙三階會議室開臺國祭礎商會。軍官民代表。多數列席。多喜教育課長。就座長席。決議左記事項。

基隆建國祭行事

經官民礎商決定

國旗揭揚將出巡行

式典終了後。代表子。基隆神社參拜。

三、市中行進。午前一時起。參加式典各團體（小公學校四年生以上）及一般希望者。總行市內。路開由公會堂下出發。經日新橋。驛前。

四、祝賀會。三時起。假公會堂。開定度會費金五十錢。須攜星向市廳務課報名。

五、國旗運動。臺設置競技。該之日。須服備。時當晨。該旗人巡查。國語（日本語）運動。

六、提燈行列。會員。各自攜帶提燈。行列。會員。各自攜帶提燈。行列。

七、煙火。

八、旗行列。

九、店頭裝飾。

十、花電車。

十一、提燈行列。

十二、仲國祭。

十三、代表者參拜基隆神社。

臺博會期中迎賓館 改稱法人協和會館 以後為官吏之社交場

臺博迎賓館。將如何活用。應由協賛會獨力建。而由義務貯金所生資金。代為建築。其間以使用料受其寄附也。

內海知事視察道路 四日蒞旗山

內海高雄州知事。為視察產業道路。訂來四日蒞旗山。翌五日朝。視察杉林茄苳湖。內門庄。旗山關廟等諸道路。及六龜庄二坡仔隧道等。下午經由里港小歸廳云。

澎湖鯛魚 移出內地 逐年增加

澎湖鯛之內地移出量。逐年增加。本年迄今移出數量如下。丸共（宮崎。林兩商店合同）約四萬瓩。日本倉料約四萬五千瓩。林豪約四萬瓩。共二十二萬五千瓩。至來三四月。移出七八萬瓩。故本年移出額。豫想達二十萬瓩。

基隆郡下海岸部落 漁港施設漸完備 將來水產業料必拡

基隆郡下海岸部落漁港施設。從四十三年度起。

臺灣國防義會航空部 欲購置優秀飛機 期開發臺灣未開航空路

帝國航空政策上。臺灣已。尚未確定。似欲購入千馬。第二型。及三菱エンボイ機。（双發動機）。顧航空部。使機材整備完了。欲以臺灣為中心。試驗未開航空路。及遊覽飛行等。努力于航空界之開發云。

共販麻袋 銷售激減 因農民惜賣

臺灣麻袋共同販賣組合。于前年四月一日。至臘月末日。麻袋販賣數量七百六十二萬九千二百八十二千六百。較前年同期激減。即九年同期數量一千九萬八千六百八十六萬。

臺博會期中迎賓館 改稱法人協和會館 以後為官吏之社交場

臺博迎賓館。將如何活用。應由協賛會獨力建。而由義務貯金所生資金。代為建築。其間以使用料受其寄附也。

內海知事視察道路 四日蒞旗山

內海高雄州知事。為視察產業道路。訂來四日蒞旗山。翌五日朝。視察杉林茄苳湖。內門庄。旗山關廟等諸道路。及六龜庄二坡仔隧道等。下午經由里港小歸廳云。

澎湖鯛魚 移出內地 逐年增加

澎湖鯛之內地移出量。逐年增加。本年迄今移出數量如下。丸共（宮崎。林兩商店合同）約四萬瓩。日本倉料約四萬五千瓩。林豪約四萬瓩。共二十二萬五千瓩。至來三四月。移出七八萬瓩。故本年移出額。豫想達二十萬瓩。

基隆郡下海岸部落 漁港施設漸完備 將來水產業料必拡

基隆郡下海岸部落漁港施設。從四十三年度起。

士林芝山岩祭典 本年合祀二十名 中川總督其他多數臨席

士林芝山岩。舉祀本島教育界殉職者四百五名英靈。去一日午前九時半。先舉本年合祀者二十名。合祀祭後。同十時。于細雨之中舉例祭。社殿正面祭壇。有中川總督。臺灣教育會等各方面供物。增左邊設有遺族席。祭典委員席。右邊文武官及參列員席。定刻。中川總督以下祭主祭典委員。齋主。遺族。參列者一同著席。依例修祓其他。齋主山口宮司奏祝詞。祭主平塚臺灣教育會長代理。深川文教局長讀祭文。奉玉串拜禮。次遺族總代柴山彰化市助役。中川總督。軍司令官代理霜田守備隊司令官。參列員總代。即文官。總代小濱內務局長。武官總代筱洲參謀長。民間總代小松吉久氏。齋主山口宮司等。前後奉玉串拜禮。次而整列于社前之士林公學校兒童。合唱招魂歌。撤饌。閉扉。至十時五十分式畢。參列者一同參觀遺骸。遺骨。又是日來賓。前記以外。尚有堀田。交通局總長。中川總督。軍司令官。參列員總代。即文官。總代小濱內務局長。武官總代筱洲參謀長。民間總代小松吉久氏。齋主山口宮司等。前後奉玉串拜禮。次而整列于社前之士林公學校兒童。合唱招魂歌。撤饌。

特產市況

大連一日發本社特電。材料缺乏。特產昂騰。大豆移出方面現物買。二等品大引六圓九錢。四等品大引五圓八十四錢。大引五圓九十六錢。定期奧地參列者一同著席。依例修祓其他。齋主山口宮司奏祝詞。祭主平塚臺灣教育會長代理。深川文教局長讀祭文。奉玉串拜禮。次遺族總代柴山彰化市助役。中川總督。軍司令官代理霜田守備隊司令官。參列員總代。即文官。總代小濱內務局長。武官總代筱洲參謀長。民間總代小松吉久氏。齋主山口宮司等。前後奉玉串拜禮。次而整列于社前之士林公學校兒童。合唱招魂歌。撤饌。

銀票軟化 九十八圓臺

大連一日發本社特電。鈔票市場。舊正以來。行情極不振。海外銀塊不況。上海通貨不安。頗見軟調。以百圓為中心。小幅往來。本日實需買物無多。幾分軟化。一般實氣。一方滬申百四圓落。價恐崩落。低值九十八圓三十錢。結局九十八圓五十錢軟調大引。

花蓮街民 唱改築葬儀堂

花蓮港街葬儀堂及火葬場竝葬儀堂。與火葬場間之道路。設備嘗極不周。故有唱修道路。及改築前記兩建物者。惟因該街。現在方著手建造中學校。及法院。築港等。故火葬場等之改築。遂為一般所閑却然最近武德殿之新築。街民寄附金。多至四萬五千圓。故火葬場之改修。若由街民募集寄附。最少按有二三萬圓。將以街民希望。提議於街協議會云。

臺博會期中迎賓館 改稱法人協和會館 以後為官吏之社交場

臺博迎賓館。將如何活用。應由協賛會獨力建。而總督府山岸會計課長。以官吏代表。企圖具體化。自一日。改稱為財團法人協和會館。同財團理事十五名。監事三名。評議員若干名。理事長為半塚長官。而為本島官衙職員之人格陶冶。及圖識見向上經營俱樂部。而以官廳在職者。同退職者。臺北俱樂部會員等為主。徵收會費。勅任月三圓。奏任二圓。判任五錢以上一圓。同六錢以下囑託雇員等六十錢。民間入會者。經理事承認後。要納入會金百圓。俱樂部設有庶務。學藝。體操。撞球。麻雀。園藝。將供各部。唯食堂為一般開放。該迎賓館。此後成為社交場。

會館利用 非官吏獨占

關此據山岸會計課長所談如次。此經正規手續。而成財團法人。由理事會接洽規定者。其親為官吏本位者。因財產大部分。由官吏義務貯金關係。而支出其代取壞。舊時如。吏俱樂部。之臺北俱樂部。而建十其長為會員。時義等處。男爵。嘉納。由客員官吏三。七二名。民間一名。三三名。納其所販賣之麥酒。二二八箇計四三二三匹皆。委數乾透。水澤於花大西地。而成財團法人。由理事會接洽規定者。共親為官吏本位者。因財產大部分。由官吏義務貯金關係。而支出其代取壞。舊時如。吏俱樂部。之臺北俱樂部。而建十其長為會員。時義等處。男爵。嘉納。由客員官吏三。七二名。民間一名。三三名。納其所販賣之麥酒。二二八箇計四三二三匹皆。委數乾透。水澤於花大西地。而

臺博會期中迎賓館 改稱法人協和會館 以後為官吏之社交場

臺博迎賓館。將如何活用。應由協賛會獨力建。而總督府山岸會計課長。以官吏代表。企圖具體化。自一日。改稱為財團法人協和會館。同財團理事十五名。監事三名。評議員若干名。理事長為半塚長官。而為本島官衙職員之人格陶冶。及圖識見向上經營俱樂部。而以官廳在職者。同退職者。臺北俱樂部會員等為主。徵收會費。勅任月三圓。奏任二圓。判任五錢以上一圓。同六錢以下囑託雇員等六十錢。民間入會者。經理事承認後。要納入會金百圓。俱樂部設有庶務。學藝。體操。撞球。麻雀。園藝。將供各部。唯食堂為一般開放。該迎賓館。此後成為社交場。

研究芭蕉纖維製紙 臺灣芭蕉之內外地輸移出額。年約二百萬瓩。然內地方面。已在飽和狀態。故臺灣青果。將來欲對滿洲華北等處。努力擴張販路。以緩和內地之飽和狀態。惟近將來。年產額或多三百萬瓩。若是則消化難。故當業者。自佩即以芭蕉為原料。以製造香料。餅餌。化粧品。遊等諸加工品。惟未至大量生產。而最近設置見以蕉莖製紙方法。此纖維工業。若得實現。芭蕉之後途。可以刮目而待。關該事業。青果組合理議今非氏。亦曾向各地同業組合聽取意見。常現尚未研究中。至於企業化。雖免有迂餘曲折云。

宜蘭街副業 編帽競技 授賞式詳報

宜蘭街役場為獎勵地方副業。假宜蘭街公會堂。開帽子編競技會。婦女會員百四名出席。三十日午後三時。開競技會授與式。來賓有田中宜蘭郡守。田園庶務課長。桑名勸業主任。竝各關係者十餘名列席。岩田助役開會辭。次江汉與賓記。報告審查狀況。後由園口街長。授與賽賞。竝例事賞。田中部守代理。各賞金一封。及賞狀。次賞一等。二等。林氏素梅。張氏王鳳。二等。張氏阿秀。二等。林氏素梅。張氏王鳳。二等。張氏

臺灣國防義會航空部 欲購置優秀飛機 期開發臺灣未開航空路

帝國航空政策上。臺灣已。尚未確定。似欲購入千馬。第二型。及三菱エンボイ機。（双發動機）。顧航空部。使機材整備完了。欲以臺灣為中心。試驗未開航空路。及遊覽飛行等。努力于航空界之開發云。

共販麻袋 銷售激減 因農民惜賣

臺灣麻袋共同販賣組合。于前年四月一日。至臘月末日。麻袋販賣數量七百六十二萬九千二百八十二千六百。較前年同期激減。即九年同期數量一千九萬八千六百八十六萬。

臺博會期中迎賓館 改稱法人協和會館 以後為官吏之社交場

臺博迎賓館。將如何活用。應由協賛會獨力建。而總督府山岸會計課長。以官吏代表。企圖具體化。自一日。改稱為財團法人協和會館。同財團理事十五名。監事三名。評議員若干名。理事長為半塚長官。而為本島官衙職員之人格陶冶。及圖識見向上經營俱樂部。而以官廳在職者。同退職者。臺北俱樂部會員等為主。徵收會費。勅任月三圓。奏任二圓。判任五錢以上一圓。同六錢以下囑託雇員等六十錢。民間入會者。經理事承認後。要納入會金百圓。俱樂部設有庶務。學藝。體操。撞球。麻雀。園藝。將供各部。唯食堂為一般開放。該迎賓館。此後成為社交場。

研究芭蕉纖維製紙 臺灣芭蕉之內外地輸移出額。年約二百萬瓩。然內地方面。已在飽和狀態。故臺灣青果。將來欲對滿洲華北等處。努力擴張販路。以緩和內地之飽和狀態。惟近將來。年產額或多三百萬瓩。若是則消化難。故當業者。自佩即以芭蕉為原料。以製造香料。餅餌。化粧品。遊等諸加工品。惟未至大量生產。而最近設置見以蕉莖製紙方法。此纖維工業。若得實現。芭蕉之後途。可以刮目而待。關該事業。青果組合理議今非氏。亦曾向各地同業組合聽取意見。常現尚未研究中。至於企業化。雖免有迂餘曲折云。

宜蘭街副業 編帽競技 授賞式詳報

宜蘭街役場為獎勵地方副業。假宜蘭街公會堂。開帽子編競技會。婦女會員百四名出席。三十日午後三時。開競技會授與式。來賓有田中宜蘭郡守。田園庶務課長。桑名勸業主任。竝各關係者十餘名列席。岩田助役開會辭。次江汉與賓記。報告審查狀況。後由園口街長。授與賽賞。竝例事賞。田中部守代理。各賞金一封。及賞狀。次賞一等。二等。林氏素梅。張氏王鳳。二等。張氏阿秀。二等。林氏素梅。張氏王鳳。二等。張氏

基隆建國祭行事 經官民礎商決定 國旗揭揚將出巡行

基隆市去三十一日。午後一時。假市衙三階會議室開臺國祭礎商會。軍官民代表。多數列席。多喜教育課長。就座長席。決議左記事項。

一、建國祭式典。二月十一日午前十時二十分。假公會堂下為式場。基隆神社參拜。

二、代表者參拜基隆神社。

三、市中行進。午前一時起。參加式典各團體（小公學校四年生以上）及一般希望者。總行市內。路開由公會堂下出發。經日新橋。驛前。

四、祝賀會。三時起。假公會堂。開定度會費金五十錢。須攜星向市廳務課報名。

五、國旗運動。臺設置競技。該之日。須服備。時當晨。該旗人巡查。國語（日本語）運動。

六、提燈行列。會員。各自攜帶提燈。行列。會員。各自攜帶提燈。行列。

七、煙火。

八、旗行列。

九、店頭裝飾。

十、花電車。

十一、提燈行列。

十二、仲國祭。

十三、代表者參拜基隆神社。

臺博會期中迎賓館 改稱法人協和會館 以後為官吏之社交場

臺博迎賓館。將如何活用。應由協賛會獨力建。而總督府山岸會計課長。以官吏代表。企圖具體化。自一日。改稱為財團法人協和會館。同財團理事十五名。監事三名。評議員若干名。理事長為半塚長官。而為本島官衙職員之人格陶冶。及圖識見向上經營俱樂部。而以官廳在職者。同退職者。臺北俱樂部會員等為主。徵收會費。勅任月三圓。奏任二圓。判任五錢以上一圓。同六錢以下囑託雇員等六十錢。民間入會者。經理事承認後。要納入會金百圓。俱樂部設有庶務。學藝。體操。撞球。麻雀。園藝。將供各部。唯食堂為一般開放。該迎賓館。此後成為社交場。

研究芭蕉纖維製紙 臺灣芭蕉之內外地輸移出額。年約二百萬瓩。然內地方面。已在飽和狀態。故臺灣青果。將來欲對滿洲華北等處。努力擴張販路。以緩和內地之飽和狀態。惟近將來。年產額或多三百萬瓩。若是則消化難。故當業者。自佩即以芭蕉為原料。以製造香料。餅餌。化粧品。遊等諸加工品。惟未至大量生產。而最近設置見以蕉莖製紙方法。此纖維工業。若得實現。芭蕉之後途。可以刮目而待。關該事業。青果組合理議今非氏。亦曾向各地同業組合聽取意見。常現尚未研究中。至於企業化。雖免有迂餘曲折云。

宜蘭街副業 編帽競技 授賞式詳報

宜蘭街役場為獎勵地方副業。假宜蘭街公會堂。開帽子編競技會。婦女會員百四名出席。三十日午後三時。開競技會授與式。來賓有田中宜蘭郡守。田園庶務課長。桑名勸業主任。竝各關係者十餘名列席。岩田助役開會辭。次江汉與賓記。報告審查狀況。後由園口街長。授與賽賞。竝例事賞。田中部守代理。各賞金一封。及賞狀。次賞一等。二等。林氏素梅。張氏王鳳。二等。張氏阿秀。二等。林氏素梅。張氏王鳳。二等。張氏

基隆郡下海岸部落 漁港施設漸完備 將來水產業料必拡

基隆郡下海岸部落漁港施設。從四十三年度起。

基隆市曙町殺人犯 與強盜犯容貌酷似 由荒木刑事押歸臺北查究

既報基隆市曙町殺人事件。兇首楊振喬。竊由基署查問中。或將發覺重大犯罪。即因與三年前。在臺北工業學校前。強奪集金人之犯人。容貌酷似。因欲在臺北查問。去一月午前九時。有臺北州刑事課荒木刑事到基。押犯歸北。然後召集被害者及參考人等到署驗其容貌。竝查究當時狀況云。

旗後臨水宮 交涉買收 對高雄築港

高雄市族。後壁臺山麓。有建一臨水宮。該山數年來由高雄築港。採取山石中。竝近須要折去該廟。即對廟管理者及信徒間。交涉買收每坪按價百二十圓。然語管理者。藉言同廟係守護族後本島人之廟。非該族後之廟。須服務。時當晨。該旗人巡查。國語（日本語）運動。

旗山神社 聘內地工匠 將興工建築

旗山神社。現正整理敷地中。待該工竣工後。乃欲興工建築本殿。拜殿等。然因包辦金額。不易解決。工事延為遲緩。茲由新屬及田中技手。于出差名古屋時。與該市西區東批杷町。草屋源藏氏。作成契約。按三月中旬興工。

旅行俱樂部 募進香團 來八日出發

前記由旅行俱樂臺北支部臺北驛長主催。第六回北海朝天宮進香團。經得多大好評。無事告完。然因希望者尚多。故同俱樂部更為第七回募集。其要項如次。

一、募集人員三百名。

一、出發新暦二月八日

一、歸著同二月十日。

一、列車為臨時急行列車以同族親同族。而見流血慘鬪。雖亦不武。明郎曰。

一、費用大人五圓五十錢。小兒二圓七十五錢。若不滿三百名。則由普通列車。

臺北一師小使 拐帶現金 在淡水逮捕

海山郡中和庄頭乾三百四十五番地。呂秋金。年十二。被雇為第一師範附屬公學校小使。去一月二十二日午前中。受同校訓導宋登才氏所託。向臺銀領出二百七十圓。拐帶而去。爾後搜查全州下。探知其走往淡水。去三十一日。由南署諸藤張刑事。出差淡水。求淡水郡刑事援。逮捕到案云。

彰化郡學級經營研究

彰化郡修身科之學級經營研究會。去三十日午前七時起。開於鹿港一公。有土屋州郡學。新保郡視學及會員九十餘名列席。開會前。先行實地參觀早朝礎崗早朝自修。職員早朝礎崗早朝作業。朝會。學級訓話第一時間修身科學習。勤勞作業。第二時間修身科學習等。次在事務室。由新保視學。述開會辭。進入研究發表。前田當番校長及河崎研究主任學級經營發表後。有陳線西公。黃三家春公兩訓導之研究發表。正午休憩中食。午後一時。繼續進行。新庄子。管嶼厝。花塭。鹿二各公學校。亦相踵發表研究。繼而細目審查。經營案審查。教具審查諸報告後。互相質疑。講評。最後有臨席官之講話。前田校長之謝辭。五時過。盛況裡閉會。

不良店員 橫領主金

臺南市大宮町四丁目。庫馬利亞。年二十。恰好揮霍。目前被解。於某廣町二丁目。三米谷販賣業小。林氏店。任其名義人。時赴尚雄。其妻。新營。嘉義等處。男優生活。由客年十月。三三年終。將其所販賣之麥酒。二二八箇計四三二三匹皆。委數乾透。水澤於花大西地。而

臺博會期中迎賓館 改稱法人協和會館 以後為官吏之社交場

臺博迎賓館。將如何活用。應由協賛會獨力建。而總督府山岸會計課長。以官吏代表。企圖具體化。自一日。改稱為財團法人協和會館。同財團理事十五名。監事三名。評議員若干名。理事長為半塚長官。而為本島官衙職員之人格陶冶。及圖識見向上經營俱樂部。而以官廳在職者。同退職者。臺北俱樂部會員等為主。徵收會費。勅任月三圓。奏任二圓。判任五錢以上一圓。同六錢以下囑託雇員等六十錢。民間入會者。經理事承認後。要納入會金百圓。俱樂部設有庶務。學藝。體操。撞球。麻雀。園藝。將供各部。唯食堂為一般開放。該迎賓館。此後成為社交場。

研究芭蕉纖維製紙 臺灣芭蕉之內外地輸移出額。年約二百萬瓩。然內地方面。已在飽和狀態。故臺灣青果。將來欲對滿洲華北等處。努力擴張販路。以緩和內地之飽和狀態。惟近將來。年產額或多三百萬瓩。若是則消化難。故當業者。自佩即以芭蕉為原料。以製造香料。餅餌。化粧品。遊等諸加工品。惟未至大量生產。而最近設置見以蕉莖製紙方法。此纖維工業。若得實現。芭蕉之後途。可以刮目而待。關該事業。青果組合理議今非氏。亦曾向各地同業組合聽取意見。常現尚未研究中。至於企業化。雖免有迂餘曲折云。

宜蘭街副業 編帽競技 授賞式詳報

宜蘭街役場為獎勵地方副業。假宜蘭街公會堂。開帽子編競技會。婦女會員百四名出席。三十日午後三時。開競技會授與式。來賓有田中宜蘭郡守。田園庶務課長。桑名勸業主任。竝各關係者十餘名列席。岩田助役開會辭。次江汉與賓記。報告審查狀況。後由園口街長。授與賽賞。竝例事賞。田中部守代理。各賞金一封。及賞狀。次賞一等。二等。林氏素梅。張氏王鳳。二等。張氏阿秀。二等。林氏素梅。張氏王鳳。二等。張氏

基隆郡下海岸部落 漁港施設漸完備 將來水產業料必拡

基隆郡下海岸部落漁港施設。從四十三年度起。

基隆市曙町殺人犯 與強盜犯容貌酷似 由荒木刑事押歸臺北查究

既報基隆市曙町殺人事件。兇首楊振喬。竊由基署查問中。或將發覺重大犯罪。即因與三年前。在臺北工業學校前。強奪集金人之犯人。容貌酷似。因欲在臺北查問。去一月午前九時。有臺北州刑事課荒木刑事到基。押犯歸北。然後召集被害者及參考人等到署驗其容貌。竝查究當時狀況云。

旗後臨水宮 交涉買收 對高雄築港

高雄市族。後壁臺山麓。有建一臨水宮。該山數年來由高雄築港。採取山石中。竝近須要折去該廟。即對廟管理者及信徒間。交涉買收每坪按價百二十圓。然語管理者。藉言同廟係守護族後本島人之廟。非該族後之廟。須服務。時當晨。該旗人巡查。國語（日本語）運動。

旗山神社 聘內地工匠 將興工建築

旗山神社。現正整理敷地中。待該工竣工後。乃欲興工建築本殿。拜殿等。然因包辦金額。不易解決。工事延為遲緩。茲由新屬及田中技手。于出差名古屋時。與該市西區東批杷町。草屋源藏氏。作成契約。按三月中旬興工。

旅行俱樂部 募進香團 來八日出發

前記由旅行俱樂臺北支部臺北驛長主催。第六回北海朝天宮進香團。經得多大好評。無事告完。然因希望者尚多。故同俱樂部更為第七回募集。其要項如次。

一、募集人員三百名。

一、出發新暦二月八日

一、歸著同二月十日。

一、列車為臨時急行列車以同族親同族。而見流血慘鬪。雖亦不武。明郎曰。

一、費用大人五圓五十錢。小兒二圓七十五錢。若不滿三百名。則由普通列車。

臺北一師小使 拐帶現金 在淡水逮捕

海山郡中和庄頭乾三百四十五番地。呂秋金。年十二。被雇為第一師範附屬公學校小使。去一月二十二日午前中。受同校訓導宋登才氏所託。向臺銀領出二百七十圓。拐帶而去。爾後搜查全州下。探知其走往淡水。去三十一日。由南署諸藤張刑事。出差淡水。求淡水郡刑事援。逮捕到案云。

彰化郡學級經營研究

彰化郡修身科之學級經營研究會。去三十日午前七時起。開於鹿港一公。有土屋州郡學。新保郡視學及會員九十餘名列席。開會前。先行實地參觀早朝礎崗早朝自修。職員早朝礎崗早朝作業。朝會。學級訓話第一時間修身科學習。勤勞作業。第二時間修身科學習等。次在事務室。由新保視學。述開會辭。進入研究發表。前田當番校長及河崎研究主任學級經營發表後。有陳線西公。黃三家春公兩訓導之研究發表。正午休憩中食。午後一時。繼續進行。新庄子。管嶼厝。花塭。鹿二各公學校。亦相踵發表研究。繼而細目審查。經營案審查。教具審查諸報告後。互相質疑。講評。最後有臨席官之講話。前田校長之謝辞。五時過。盛況裡閉會。

不良店員 橫領主金

臺南市大宮町四丁目。庫馬利亞。年二十。恰好揮霍。目前被解。於某廣町二丁目。三米谷販賣業小。林氏店。任其名義人。時赴尚雄。其妻。新營。嘉義等處。男優生活。由客年十月。三三年終。將其所販賣之麥酒。二二八箇計四三二三匹皆。委數乾透。水澤於花大西地。而

臺博會期中迎賓館 改稱法人協和會館 以後為官吏之社交場

臺博迎賓館。將如何活用。應由協賛會獨力建。而總督府山岸會計課長。以官吏代表。企圖具體化。自一日。改稱為財團法人協和會館。同財團理事十五名。監事三名。評議員若干名。理事長為半塚長官。而為本島官衙職員之人格陶冶。及圖識見向上經營俱樂部。而以官廳在職者。同退職者。臺北俱樂部會員等為主。徵收會費。勅任月三圓。奏任二圓。判任五錢以上一圓。同六錢以下囑託雇員等六十錢。民間入會者。經理事承認後。要納入會金百圓。俱樂部設有庶務。學藝。體操。撞球。麻雀。園藝。將供各部。唯食堂為一般開放。該迎賓館。此後成為社交場。

研究芭蕉纖維製紙 臺灣芭蕉之內外地輸移出額。年約二百萬瓩。然內地方面。已在飽和狀態。故臺灣青果。將來欲對滿洲華北等處。努力擴張販路。以緩和內地之飽和狀態。惟近將來。年產額或多三百萬瓩。若是則消化難。故當業者。自佩即以芭蕉為原料。以製造香料。餅餌。化粧品。遊等諸加工品。惟未至大量生產。而最近設置見以蕉莖製紙方法。此纖維工業。若得實現。芭蕉之後途。可以刮目而待。關該事業。青果組合理議今非氏。亦曾向各地同業組合聽取意見。常現尚未研究中。至於企業化。雖免有迂餘曲折云。

宜蘭街副業 編帽競技 授賞式詳報

宜蘭街役場為獎勵地方副業。假宜蘭街公會堂。開帽子編競技會。婦女會員百四名出席。三十日午後三時。開競技會授與式。來賓有田中宜蘭郡守。田園庶務課長。桑名勸業主任。竝各關係者十餘名列席。岩田助役開會辭。次江汉與賓記。報告審查狀況。後由園口街長。授與賽賞。竝例事賞。田中部守代理。各賞金一封。及賞狀。次賞一等。二等。林氏素梅。張氏王鳳。二等。張氏阿秀。二等。林氏素梅。張氏王鳳。二等。張氏

基隆郡下海岸部落 漁港施設漸完備 將來水產業料必拡

基隆郡下海岸部落漁港施設。從四十三年度起。

基隆市曙町殺人犯 與強盜犯容貌酷似 由荒木刑事押歸臺北查究

既報基隆市曙町殺人事件。兇首楊振喬。竊由基署查問中。或將發覺重大犯罪。即因與三年前。在臺北工業學校前。強奪集金人之犯人。容貌酷似。因欲在臺北查問。去一月午前九時。有臺北州刑事課荒木刑事到基。押犯歸北。然後召集被害者及參考人等到署驗其容貌。竝查究當時狀況云。

旗後臨水宮 交涉買收 對高雄築港

高雄市族。後壁臺山麓。有建一臨水宮。該山數年來由高雄築港。採取山石中。竝近須要折去該廟。即對廟管理者及信徒間。交涉買收每坪按價百二十圓。然語管理者。藉言同廟係守護族後本島人之廟。非該族後之廟。須服務。時當晨。該旗人巡查。國語（日本語）運動。

旗山神社 聘內地工匠 將興工建築

旗山神社。現正整理敷地中。待該工竣工後。乃欲興工建築本殿。拜殿等。然因包辦金額。不易解決。工事延為遲緩。茲由新屬及田中技手。于出差名古屋時。與該市西區東批杷町。草屋源藏氏。作成契約。按三月中旬興工。

旅行俱樂部 募進香團 來八日出發

前記由旅行俱樂臺北支部臺北驛長主催。第六回北海朝天宮進香團。經得多大好評。無事告完。然因希望者尚多。故同俱樂部更為第七回募集。其要項如次。

一、募集人員三百名。

一、出發新暦二月八日

一、歸著同二月十日。

一、列車為臨時急行列車以同族親同族。而見流血慘鬪。雖亦不武。明郎曰。

一、費用大人五圓五十錢。小兒二圓七十五錢。若不滿三百名。則由普通列車。

臺北一師小使 拐帶現金 在淡水逮捕

海山郡中和庄頭乾三百四十五番地。呂秋金。年十二。被雇為第一師範附屬公學校小使。去一月二十二日午前中。受同校訓導宋登才氏所託。向臺銀領出二百七十圓。拐帶而去。爾後搜查全州下。探知其走往淡水。去三十一日。由南署諸藤張刑事。出差淡水。求淡水郡刑事援。逮捕到案云。

彰化郡學級經營研究

彰化郡修身科之學級經營研究會。去三十日午前七時起。開於鹿港一公。有土屋州郡學。新保郡視學及會員九十餘名列席。開會前。先行實地參觀早朝礎崗早朝自修。職員早朝礎崗早朝作業。朝會。學級訓話第一時間修身科學習。勤勞作業。第二時間修身科學習等。次在事務室。由新保視學。述開會辭。進入研究發表。前田當番校長及河崎研究主任學級經營發表後。有陳線西公。黃三家春公兩訓導之研究發表。正午休憩中食。午後一時。繼續進行。新庄子。管嶼厝。花塭。鹿二各公學校。亦相踵發表研究。繼而細目審查。經營案審查。教具審查諸報告後。互相質疑。講評。最後有臨席官之講話。前田校長之謝辞。五時過。盛況裡閉會。

不良店員 橫領主金

臺南市大宮町四丁目。庫馬利亞。年二十。恰好揮霍。目前被解。於某廣町二丁目。三米谷販賣業小。林氏店。任其名義人。時赴尚雄。其妻。新營。嘉義等處。男優生活。由客年十月。三三年終。將其所販賣之麥酒。二二八箇計四三二三匹皆。委數乾透。水澤於花大西地。而

臺博會期中迎賓館 改稱法人協和會館 以後為官吏之社交場

臺博迎賓館。將如何活用。應由協賛會獨力建。而總督府山岸會計課長。以官吏代表。企圖具體化。自一日。改稱為財團法人協和會館。同財團理事十五名。監事三名。評議員若干名。理事長為半塚長官。而為本島官衙職員之人格陶冶。及圖識見向上經營俱樂部。而以官廳在職者。同退職者。臺北俱樂部會員等為主。徵收會費。勅任月三圓。奏任二圓。判任五錢以上一圓。同六錢以下囑託雇員等六十錢。民間入會者。經理事承認後。要納入會金百圓。俱樂部設有庶務。學藝。體操。撞球。麻雀。園藝。將供各部。唯食堂為一般開放。該迎賓館。此後成為社交場。

研究芭蕉纖維製紙 臺灣芭蕉之內外地輸移出額。年約二百萬瓩。然內地方面。已在飽和狀態。故臺灣青果。將來欲對滿洲華北等處。努力擴張販路。以緩和內地之飽和狀態。惟近將來。年產額或多三百萬瓩。若是則消化難。故當業者。自佩即以芭蕉為原料。以製造香料。餅餌。化粧品。遊等諸加工品。惟未至大量生產。而最近設置見以蕉莖製紙方法。此纖維工業。若得實現。芭蕉之後途。可以刮目而待。關該事業。青果組合理議今非氏。亦曾向各地同業組合聽取意見。常現尚未研究中。至於企業化。雖免有迂餘曲折云。

宜蘭街副業 編帽競技 授賞式詳報

宜蘭街役場為獎勵地方副業。假宜蘭街公會堂。開帽子編競技會。婦女會員百四名出席。三十日午後三時。開競技會授與式。來賓有田中宜蘭郡守。田園庶務課長。桑名勸業主任。竝各關係者十餘名列席。岩田助役開會辭。次江汉與賓記。報告審查狀況。後由園口街長。授與賽賞。竝例事賞。田中部守代理。各賞金一封。及賞狀。次賞一等。二等。林氏素梅。張氏王鳳。二等。張氏阿秀。二等。林氏素梅。張氏王鳳。二等。張氏

基隆郡下海岸部落 漁港施設漸完備 將來水產業料必拡

基隆郡下海岸部落漁港施設。從四十三年度起。

基隆市曙町殺人犯 與強盜犯容貌酷似 由荒木刑事押歸臺北查究

既報基隆市曙町殺人事件。兇首楊振喬。竊由基署查問中。或將發覺重大犯罪。即因與三年前。在臺北工業學校前。強奪集金人之犯人。容貌酷似。因欲在臺北查問。去一月午前九時。有臺北州刑事課荒木刑事到基。押犯歸北。然後召集被害者及參考人等到署驗其容貌。竝查究當時狀況云。

旗後臨水宮 交涉買收 對高雄築港

高雄市族。後壁臺山麓。有建一臨水宮。該山數年來由高雄築港。採取山石中。竝近須要折去該廟。即對廟管理者及信徒間。交涉買收每坪按價百二十圓。然語管理者。藉言同廟係守護族後本島人之廟。非該族後之廟。須服務。時當晨。該旗人巡查。國語（日本語）運動。

旗山神社 聘內地工匠 將興工建築

旗山神社。現正整理敷地中。待該工竣工後。乃欲興工建築本殿。拜殿等。然因包辦金額。不易解決。工事延為遲緩。茲由新屬及田中技手。于出差名古屋時。與該市西區東批杷町。草屋源藏氏。作成契約。按三月中旬興工。

旅行俱樂部 募進香團 來八日出發

前記由旅行俱樂臺北支部臺北驛長主催。第六回北海朝天宮進香團。經得多大好評。無事告完。然因希望者尚多。故同俱樂部更為第七回募集。其要項如次。

一、募集人員三百名。

一、出發新暦二月八日

一、歸著同二月十日。

一、列車為臨時急行列車以同族親同族。而見流血慘鬪。雖亦不武。明郎曰。

一、費用大人五圓五十錢。小兒二圓七十五錢。若不滿三百名。則由普通列車。

臺北一師小使 拐帶現金 在淡水逮捕

海山郡中和庄頭乾三百四十五番地。呂秋金。年十二。被雇為第一師範附屬公學校小使。去一月二十二日午前中。受同校訓導宋登才氏所託。向臺銀領出二百七十圓。拐帶而去。爾後搜查全州下。探知其走往淡水。去三十一日。由南署諸藤張刑事。出差淡水。求淡水郡刑事援。逮捕到案云。

彰化郡學級經營研究

彰化郡修身科之學級經營研究會。去三十日午前七時起。開於鹿港一公。有土屋州郡學。新保郡視學及會員九十餘名列席。開會前。先行實地參觀早朝礎崗早朝自修。職員早朝礎崗早朝作業。朝會。學級訓話第一時間修身科學習。勤勞作業。第二時間修身科學習等。次在事務室。由新保視學。述開會辭。進入研究發表。前田當番校長及河崎研究主任學級經營發表後。有陳線西公。黃三家春公兩訓導之研究發表。正午休憩中食。午後一時。繼續進行。新庄子。管嶼厝。花塭。鹿二各公學校。亦相踵發表研究。繼而細目審查。經營案